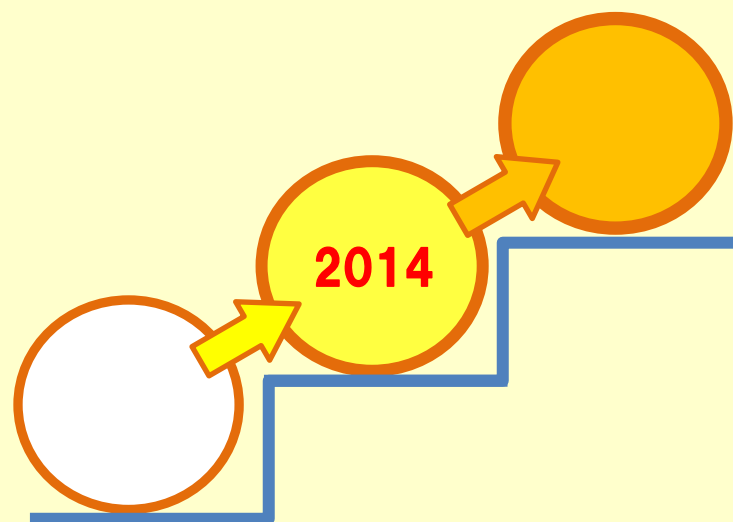


平成26年度 長崎市重点化方針



平成26年2月
長崎市

平成26年度長崎市重点化方針について

「平成26年度長崎市重点化方針」は、長崎市第四次総合計画を推進し、めざすべき将来の都市像の実現に向けて、平成26年度において長崎市がめざす目標とその達成のために重点的に取り組む戦略を定めたものです。

組織横断的に取り組むべき「重点プロジェクト」については、各局長・政策監において戦略をもって着実な推進を図ることとしており、また、各部局等においては、それぞれ定めた重点的取組みに基づき、各事業に取り組むこととしています。

なお、平成26年度においては、次の基本的な考え方のもとで予算編成を行っています。

平成26年度予算編成にあたっての基本的な考え方（抜粋）

1 予算編成の最重要ポイント

第四次総合計画を着実に推進するためには、まちづくりの原点である「市民起点」で予算編成を考え、その「考え方を市民にわかりやすく説明できる」ということが最重要ポイントとなる。

そのためには、予算編成の「目的」、「目標」及び「手段」を明確にするとともに、費用対効果を踏まえた「工夫」を凝らす必要がある。

2 めざす姿を確認しよう

「市民起点」の予算編成を行うためにも、「世界都市」「人間都市」「つながりと創造」の意味について、もう一度確認する必要がある。

3 これまでやってきたことの確認

(1) 3つの進化に向けた「重点プロジェクト」

ビジョン実現のためには、「経済」「まちの形」「まちを支える仕組み」を次の時代に相応しいものに進化させていく必要があり、これらを具体的に実現するために、「重点プロジェクト」を選び、担当の局長・政策監の指揮のもと、関係部局が連携しながら取組みを進めている。

(2) ビジョンの実現に向けた各部局の取組み

各部局でも成果例が増え、市政全般にわたり多様であるが、予算を伴わない取組みであっても、行為の一つひとつが「世界都市」「人間都市」「つながりと創造」につながっていることを意識することこそがビジョンの実現へと近づけてくれる。

(3) 行財政改革

これまで、人件費の削減、組織のスリム化、自主財源の確保など厳しい行財政改革に取り組んだことで、長崎の現在がある。これからの変化に翻弄されないためには自ら変化し続けることが必要であり、これまでのスリム化を中心とする「量の改革」に加え、仕事の仕方そのものを見直す「質の改革」が重要となる。

4 これからやることの確認

(1) 「重点プロジェクト」で確実に成果をあげる

「重点プロジェクト」は、長崎市の基本構造をつくりかえるものであり、その推進は簡単ではないが、「成果」や「形」を見せ始める時期にきていることから、「いつまでに、どういう成果をあげるのか」を明確にする。

(2) 部局ごとに「今何に重点を置くべきか」の方針を持つ

各部局長が経営者であるとの認識に立って、部局のめざす方針を職員全員に示し、認識と共有を図ったうえで、今後の事業展開をしっかりと見据えた予算編成に取り組む。

(3) 自立した市役所づくりの実践として、市民起点の予算編成の考え方をわかりやすく説明できるようにしておく

限られた財源の中で重点を置いた新たな事業を実施するため、部局に示された「予算目標枠」の範囲内で、すべての事業について、「前例にとらわれず」廃止や縮小を含めた大胆な見直しに取り組み、また、今の取組みだけで解決できない課題には「創造・挑戦枠」を有効に活用する。

目次

ページ

● 将来の都市像・まちづくりの基本姿勢	1
◆ 重点テーマ1 個性を活かした交流の拡大	2
◇ 重点テーマ2 平和の発信と世界への貢献	3
◆ 重点テーマ3 地域経済の活力の創造	3
◇ 重点テーマ4 環境との調和	4
◆ 重点テーマ5 安全・安心で快適な暮らしの実現	4
◇ 重点テーマ6 ともに支え合い、いきいきと暮らせる地域社会の実現	5
◆ 重点テーマ7 創造的で豊かな心の育成	6
◇ 重点テーマ8 多様な主体による地域経営	6
● 重点プロジェクト	7
◆ 1 行政サテライト機能再編成プロジェクト	8
◇ 2 市庁舎建設プロジェクト	9
◆ 3 世界遺産推進プロジェクト<新規>	10
◇ 4 地域コミュニティのしくみづくりプロジェクト	11
◆ 5 長く元気で！プロジェクト	12
◇ 6 国際観光客誘致プロジェクト	13
◆ 7 長崎サミットプロジェクト	14
◇ 8 まちぶらプロジェクト	16
◆ 9 都市再生プロジェクト	19
◇ 10 出島表門橋架橋プロジェクト	20
◆ 11 市役所カナルプロジェクト	21
◇ 12 地域振興プロジェクト	22
◆ 13 公共施設マネジメント推進プロジェクト<新規>	23
● 主な部局等の重点的取組み	
◆ 防災危機管理室	24
◇ 企画財政部	25
◆ 総務部	27
◇ 理財部	28
◆ 市民生活部	29
◇ 国体推進部	30
◆ 原爆被爆対策部	31
◇ 福祉部	32
◆ 市民健康部	34
◇ こども部	35
◆ 環境部	36
◇ 商工部	38
◆ 文化観光部	40
◇ 水産農林部	43
◆ 土木部	44
◇ 都市計画部	45
◆ 建築部	46
◇ 消防局	48
◆ 上下水道局	50
◇ 教育委員会	52

将来の都市像・まちづくりの基本姿勢 ～基本構想・前期基本計画～

「基本構想」では、これからの10年間（平成23～32年度）においてめざす将来の都市像やまちづくりの基本姿勢を定め、「前期基本計画」では、これからの5年間（平成23～27年度）において将来の都市像を実現するための8つの重点テーマを定めています。
平成26年度においても、将来の都市像の実現に向け、重点テーマごとに掲げる各種施策や事業に積極的に取り組むこととしています。

まちづくりの基本姿勢

つながりと創造で
新しい長崎へ

将来の都市像

個性輝く世界都市
希望あふれる人間都市

重点テーマ 1 個性を活かした交流の拡大

重点テーマ 2 平和の発信と世界への貢献

重点テーマ 3 地域経済の活力の創造

重点テーマ 4 環境との調和

重点テーマ 5 安全・安心で快適な暮らしの実現

重点テーマ 6 とともに支え合い、いきいきと暮らせる地域社会の実現

重点テーマ 7 創造的で豊かな心の育成

重点テーマ 8 多様な主体による地域経営

重点テーマ 1 個性を活かした交流の拡大

まちづくりの方針A 私たちは「住む人が誇り、だれもが訪れたいまち」をめざします

長崎独自の文化や歴史に彩られた様々な魅力を磨き、活かし、伝えることで、世界の人々が訪れたいまちをめざし、交流の拡大に向けた取組みを進めます。

平成26年度の主な取組み

- 世界遺産の登録に向けた取組み
 - ・「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域」の平成27年の世界遺産登録に向けたイコモス現地調査への対応
 - ・「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」の平成28年の世界遺産登録に向けた推薦書類の作成
 - ・2つの世界遺産候補の価値や魅力の発信と来訪者の受入態勢の構築（様々な手法による周知啓発、説明板の設置、駐車場、トイレ、回遊路の整備等）
 - ・端島炭坑・高島炭坑の歴史の継承
- 夜景観光の推進
 - （イルミネーションの拡充、中町教会ライトアップ、鍋冠山公園展望台のリニューアル、稲佐山山頂へのモニュメント設置・アクセス向上検討調査）
- 出島の整備
 - ・6棟の建造物復元と表門橋架橋
 - ・出島の完全復元を含む長期計画の推進に向けた検討及び保存管理計画の策定
- 「長崎さるくキャンペーン」の推進
- 長崎市中央部の整備
 - ・長崎駅周辺の整備（市道の拡幅、岩原川周辺の歩行環境整備）
 - ・九州新幹線西九州ルート、JR長崎本線連続立体交差事業及び長崎駅周辺土地区画整理事業の推進
 - ・MICE振興に向けた拠点施設の詳細検討
 - ・国際クルーズ客船歓迎行事等による“おもてなし”の充実と効果的な情報発信
- まちなかの取組み（「まちぶらプロジェクト」の推進）
 - <新大工エリア>
 - ・商店街の活性化に向けた支援、駐輪場の整備など
 - <中島川・寺町・丸山エリア>
 - ・町家を活かしたまちなみの形成、旧消防官舎跡を活用したフリースペースの設置実験、歩きやすい環境を整える道路整備や交通体系の社会実験、「あじさいチャレンジ」など
 - <浜んまち・銅座エリア>
 - ・エリアマネジメントの検討支援、築町の溜まり空間の社会実験、路地の魅力づくり、銅座川プロムナードの整備など
 - <館内・新地エリア>
 - ・情報センターの設置、唐人屋敷跡入口部の大門建設、新地中華街商店街のイルミネーション改修支援
 - <東山手・南山手エリア>
 - ・洋館の保存整備、旧長崎英国領事館の保存修理、グラバー園開園40周年記念事業、洋館を活用するための社会実験など
 - <軸づくり>
 - ・誘導サインの設置など
 - <地域力によるまちづくり>
 - ・市民等の取組みへの支援、まちぶらカレンダーによる情報発信など
- 歴史を活かしたまちづくり
 - ・「歴史文化基本構想」の策定
 - ・「歴史の学校」開設準備
 - ・新長崎市史普及版の刊行
- 景観づくりの推進
 - ・景観重要建造物の指定
 - ・「ながさきデザイン会議」及び景観専門監の指導、助言による質の向上等
- 合併地区のまちづくり
 - （住環境整備、高島地区の「しまとく通貨発行事業」への参加、野母崎高浜海岸交流施設の活用、地域おこし協力隊の定住に向けた支援）

重点テーマ 2 平和の発信と世界への貢献

まちづくりの方針B 私たちは「平和を願い、求め、つくるまち」をめざします

被爆者の高齢化が進み、被爆体験を直接聞くことが難しくなるなか、被爆の実相を継承していくことは喫緊の課題です。また、核兵器廃絶に向け、被爆都市長崎からの平和の発信をより高めていく必要があることから、これらの課題解決に向けた取組みを進めます。

平成26年度の主な取組み

- 被爆の実相の継承
 - ・原爆資料館の施設整備、展示更新計画の策定、総合案内の設置等
 - ・被爆二世・三世への被爆体験の継承支援
 - ・米国国立公文書館での原爆資料の調査・収集
 - ・長崎原爆遺跡の文化財指定に向けた取組み
 - ・長崎原爆に関する情報を集約した新たなホームページの制作
 - ・原爆資料館収蔵資料のインターネット公開
- 平和の発信
 - ・核不拡散条約（NPT）再検討会議準備委員会でのアピール活動等
 - ・「世界こども平和会議」プレ大会の開催
- 被爆70周年記念事業の公募の実施等

重点テーマ 3 地域経済の活力の創造

まちづくりの方針C 私たちは「活力に満ち、発展し続けるまち」をめざします

長崎サミットをはじめとした産学官金の連携を強化し、製造業の競争力強化、創業・新分野進出の支援、企業誘致の積極的推進など、外貨の獲得を図り、雇用の拡大と所得の向上による経済成長の実現をめざします。

平成26年度の主な取組み

- 造船業の競争力強化
 - ・「ながさき海洋・環境産業雇用創造プロジェクト」の推進
 - ・長崎港の国際貿易港としての競争力強化
 - ・「挑戦型研究開発支援事業」の創設による新製品・新技術への支援
- 域外経済への進出に向けた取組み
 - ・HACCP（ハサップ）認証取得の支援
 - ・「長崎地域雇用創造協議会」における食と観光を活かした取組み
- 企業誘致に向けた積極的な取組み
- 商業の振興
 - ・商店街等の取組みに対する支援
- 「食」を活かした地場産業の活性化
 - ・農水産物直売所の情報発信、地元食材を活用したイベント等の実施
 - ・「シュガーロード」の推進
 - ・テレビ局を通じた広告宣伝事業
 - ・ダイレクトメールを活用した「長崎のさかな」及び加工品の販路開拓
- 農業の振興
 - ・「なつたより」の新たな販路開拓
 - ・「長崎和牛・出島ばらいろ」の知名度向上に向けた取組み
 - ・「人・農地プラン」の推進
- 有害鳥獣対策の推進
- 漁業者への燃油高騰に対する支援

重点テーマ 4 環境との調和

まちづくりの方針D 私たちは「環境と調和する潤いのあるまち」をめざします

環境と調和する潤いのあるまちをめざし、環境負荷の少ない持続可能な魅力ある故郷を、次の世代へ引き継ぐための取組みを進めます。

平成26年度の主な取組み

- 再生可能エネルギーへの転換の促進
 - ・「ながさきソーラーネットプロジェクト」の推進
- 市民の継続的な環境行動の拡大
 - ・「ながさきエコネット」との協働
- 省エネルギーの推進
 - ・市有街路灯のLED灯への転換
- 循環型社会の形成
 - ・古布の試験回収の実施
 - ・西工場の建替え
 - ・私道への下水道污水管整備推進

重点テーマ 5 安全・安心で快適な暮らしの実現

まちづくりの方針E 私たちは「安全・安心で快適に暮らせるまち」をめざします

だれもが安全で安心して暮らすことができるとともに、地域ごとに都市機能が適正に集約されたまとまりの良い快適なまちとなるよう、暮らしやすさを充実させる取組みを進めます。

平成26年度の主な取組み

- 市庁舎建替えに向けた設計作業への着手
- 地域における防災力向上
 - ・「指定緊急避難場所」への表示板の設置
 - ・指定避難所への電話機の設置
 - ・初期消火用消防ホースの軽量化
 - ・北消防署滑石出張所の建替え
 - ・消防団員の入団促進
- 暮らしやすいまちづくりの形成
 - ・「都市計画マスタープラン」の改訂
 - ・南大浦地区における共同建替事業
- 安全・安心な居住環境の整備
 - ・耐震診断が義務化された大規模民間建築物への助成の拡充
 - ・大園団地第Ⅱ期及び第Ⅲ期、伊王島地区塩町団地の建替え
 - ・「住宅リフォーム緊急支援事業」の継続実施
- 道路の整備
 - ・江平浜平線、虹が丘町西町1号線などの補助幹線道路の整備推進
 - ・「車みち」の整備
 - ・東長崎地区スマートインターチェンジの整備に向けた具体的な検討
- 公園の整備
 - ・魅力ある視点場に向けた鍋冠山公園展望台の実施設計
 - ・稲佐山山頂へのアクセス向上検討調査
- 上下水道事業の効率的・効果的な経営の推進
 - ・アセットマネジメントへの取組み

重点テーマ 6 ともに支え合い、いきいきと暮らせる地域社会の実現

まちづくりの方針F 私たちは「人にやさしく、地域でいきいきと住み続けられるまち」をめざします

子どもや高齢者などを地域で見守る仕組みづくりをはじめ、だれもが、社会とつながり支え合い、心身ともに健康で安心して暮らせるまちをめざし、きめ細やかな取組みを進めます。

平成26年度の主な取組み

- 高齢者施策の推進
 - ・地域支援ボランティアポイント制度の在宅高齢者支援への導入
 - ・認知症地域支援推進員の全19箇所の地域包括支援センターへの配置
 - ・「地域ケア会議」のモデル事業実施と長大・純大との協働による人材育成
 - ・野母崎診療所を活用した介護・福祉施設の整備
- 障害者施策の推進
 - ・障害児療育支援体制の充実
 - ・視覚・聴覚障害者への情報取得・意思疎通の支援強化
 - ・障害者就労支援相談所の運営及び障害者雇用開拓の充実
 - ・障害者就労施設等からの物品等の調達の推進及び「はあと屋」の運営
- 生活保護等に関する取組み
 - ・生活保護受給者の就労支援
 - ・生活保護受給世帯の子どもの学習支援
 - ・生活困窮者の自立支援に向けた相談窓口の設置
- 被爆者援護施策の推進
 - ・原爆症認定制度の検証
 - ・原子爆弾放射線影響研究会における情報収集等
- 子育て支援施策の推進
 - ・「長崎市子どもを守る条例」の制定
 - ・「子ども・子育て支援事業計画」の策定
 - ・「保育所待機児童ゼロ」に向けた民間保育所の増改築や認定こども園の施設整備への助成
 - ・妊婦感染予防対策モデル事業の実施
- 健康づくり施策の推進
 - ・健康づくり推進員の育成とボランティア団体や市民グループと協働した環境整備
 - ・各種健診の受診率向上に向けたモデル地区での周知啓発
 - ・「口腔保健支援センター」の設置による歯科口腔保健の推進
- 新市立病院建設事業の推進
- 飼い主不明猫の不妊化手術の助成

重点テーマ 7 創造的で豊かな心の育成

まちづくりの方針G 私たちは「豊かな心を育むまち」をめざします

社会状況がめまぐるしく変化するなか、次代を生きぬく子どもには、「知・徳・体」のバランスのとれた生きる力を育むことが肝要であるとの認識のもと、学校・家庭・地域がそれぞれの役割を果たし、協力することにより、子どもたち一人ひとりの個性や能力を伸ばすための取組みを進めます。

平成26年度の主な取組み

- 学校教育の充実
 - ・各学校独自の「学力向上プラン」の作成・実践
 - ・長崎市独自の学力調査の実施
- 読書活動の推進
 - ・司書を活用した中学校図書館の長期休業中の開放
- 「野母崎小中一貫青潮学園」の開校に伴う取組み
- 国際理解教育の推進
 - ・ALTの増員（32人→37人）
 - ・外国人と触れ合う国際交流イベントの開催
- 情報教育の推進
 - ・タブレット型パソコンの整備
 - ・テレビ会議システムによる遠隔授業の導入
- 教育環境の整備
 - ・改築予定がない全小中学校における耐震化の実施
- 科学館プラネタリウムのリニューアルオープン
- 「長崎がんばらんば国体」「長崎がんばらんば大会」の開催
 - ・円滑な競技運営に向けた取組みと“おもてなし”
 - ・国体終了後における継続した選手強化の実施

重点テーマ 8 多様な主体による地域経営

まちづくりの方針H 基本構想の推進（つながる+創造する）

地域は、その成り立ちや地理的条件などに応じ、現状や課題が様々であることから、地域が自ら課題を解決する力を高められるよう支援するとともに、地域の住民や団体の皆様一人ひとりが地域のプレイヤーとして、「自分たちのまちは自分たちでよくする」仕組みづくりに向けて着実に取り組みます。

平成26年度の主な取組み

- 地域コミュニティのしくみづくり
 - ・「地域円卓会議」の市内全地域への拡大
 - ・地域情報紙の作成、地域同士の勉強会の開催などの支援
 - ・地域の担い手を対象とした専門家による講演会の開催
- 商工会議所等を通じた自治会の活性化に向けた働きかけ
- 「自治基本条例」の制定に向けた取組み
- 支所、行政センター、本庁の機能再編に向けた取組み
- 行財政改革の推進
 - ・市民課の窓口業務の一部及び動物管理センターの動物捕獲業務の民間委託の実施
 - ・住民票の写し等のコンビニ交付システムの構築
- 農業・漁業集落排水事業の上下水道局への一元化
- 自主財源の確保
 - ・市税等の収納率向上など未収金対策の強化
 - ・遊休地、廃車公用車等の売却
- 「がんばらんば長崎市応援寄付金」における特産品の贈呈
- 「公共施設マネジメント」の推進
 - ・「用途別適正化方針」の策定
- 職員の意識改革に向けた取組み
 - ・職場内のコミュニケーションの活性化、管理職の組織マネジメント力の向上
 - ・「提案型協働事業」及び「協働クロストーク」の実施による協働意識の向上
- 「飛び出す団塊シニア世代」交流促進事業の実施

重点プロジェクト

基本構想・前期基本計画を推進するため、組織横断的な重点プロジェクトを定め、4人の局長兼政策監と1人の専任政策監を配置し、スピーディーで着実な推進を図ることとしています。
平成26年度から「世界遺産推進プロジェクト」、「公共施設マネジメント推進プロジェクト」を新たに加え、13の重点プロジェクトの推進を図っていきます。

総務局長兼政策監

1 行政サテライト機能再編成プロジェクト

2 市庁舎建設プロジェクト

3 世界遺産推進プロジェクト<新規>

市民局長兼政策監

4 地域コミュニティのしくみづくりプロジェクト

5 長く元気で！プロジェクト

経済局長兼政策監

6 国際観光客誘致プロジェクト

7 長崎サミットプロジェクト

建設局長兼政策監

8 まちぶらプロジェクト

9 都市再生プロジェクト

10 出島表門橋架橋プロジェクト

政策監（専任）

11 市役所カワルプロジェクト

12 地域振興プロジェクト

13 公共施設マネジメント推進プロジェクト<新規>

1 行政サテライト機能再編成プロジェクト

プロジェクトの概要

長崎市では、周辺の町村との合併を重ねる中で、合併地区の住民の利便性を考慮し、旧町村役場を支所・行政センターとして設置してきましたが、市民ニーズの多様化、少子高齢化の進行や情報化の進展、地域における住民のつながりが薄れつつあることなど、支所・行政センターを取り巻く環境は大きく変化し、その役割も変化しています。

そこで、このプロジェクトでは、支所・行政センターと地域コミュニティとが連携しながら、住民が住みなれた地域をより暮らしやすい場所とできるよう、行政サテライト機能の再編を推進していきます。

平成26年度の実行方針・主な取り組み

実行方針

地域の代表者や学識経験者などで構成される「長崎市支所等あり方検討委員会」から提出された報告書の趣旨を踏まえ、次の視点から、本庁内の組織も含め、支所・行政センターの大規模な再編に向けて具体的に検討を行います。

【再編の視点】

- ① 市民にとって身近な業務は身近な場所に対応する。【新たな支所】
- ② 市民生活に密着した専門的な業務は集約して拠点に対応する。【総合支所】
- ③ 本庁を中心に行っている業務を拠点へ分散する。

主な取り組み

- 市役所で行っている全ての事務について精査し、新たな支所、総合支所、本庁への振り分け作業を具体的に行います。
- 総合支所の設置箇所、本庁及び総合支所の組織等を検討します。
- 地域の最先端の組織として支所の機能を充実します。

2 市庁舎建設プロジェクト

プロジェクトの概要

現在の市庁舎の課題である、施設の老朽化、狭隘化、窓口や執務室の分散、耐震強度の不足などの問題点の解決を、補強・改修により行うことは困難です。

これらの問題を解決するため、これまでに市議会での市庁舎建設特別委員会や市庁舎建替に関する市民懇話会、更には市民アンケートによりいただいた皆様からのご意見を踏まえて、平成23年2月に市庁舎を建替えることについて、平成25年1月には、建替場所を公会堂及び公会堂前公園敷地とすることなどを決定し、表明しております。

平成25年度には、新庁舎建設基本計画の策定にあたり設置した「長崎市新庁舎建設基本計画検討市民会議」や「市庁舎・支所機能再編検討特別委員会」からのご意見を踏まえ、基本計画を策定しました。

このプロジェクトでは、今後、平成26年度から基本設計に着手し、平成31年度中の新庁舎完成をめざします。

平成26年度の取組方針・主な取組み

取組方針

新庁舎の基本・実施設計に着手します。

主な取組み

- 新庁舎の基本・実施設計に着手します。
 - ・基本・実施設計（全体期間 H26～H28）
 - ・土質調査
 - ・周辺道路改良予備設計等

関連事業	プロポーザル方式による委託業務受託者選定審査会費 （新市庁舎建設設計）	564 千円
------	--	--------

関連事業	新市庁舎建設事業費 （基本・実施設計ほか）	123,000 千円
------	--------------------------	------------

- 新庁舎建設の進捗状況について、広報紙・市ホームページにより、市民の皆様に随時お知らせします。

- 新庁舎建設の財源として市庁舎建設整備基金への積み立てを行います。

関連事業	市庁舎建設整備基金（新規積立分）	1,000,000 千円
------	------------------	--------------

3 世界遺産推進プロジェクト<新規>

プロジェクトの概要

長崎市には、ユネスコに推薦され平成27年の世界遺産登録をめざしている「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域」と、平成28年の世界遺産登録をめざしている「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」の2つの世界遺産候補があります。

そこで、このプロジェクトでは、2つの世界遺産登録の実現に向けて、構成資産の保存管理、整備活用計画の策定及び事業化、周辺の修景・整備、来訪者受入態勢の充実、周知啓発により市民への機運醸成、イコモス現地調査への対応の取り組みを進め、世界遺産を活用した交流人口の拡大による地域活性化をめざします。

平成26年度の取組方針・主な取組み

取組方針

- 「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域」の平成27年の世界遺産登録を推進します。
- 「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」の平成28年の世界遺産登録を推進します。

主な取組み

- 平成26年の夏頃に予定されているイコモス現地調査への対応、構成資産である高島炭鉱（高島炭坑・端島炭坑）の保存管理を万全なものとするため、遺構確認及びモニタリング調査等を進めながら、保存管理、整備活用計画の策定を進めます。
 - ・イコモス現地調査の対応
 - ・高島炭鉱保存管理計画及び整備活用計画策定

関連事業	「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域」登録推進費	69,945 千円
------	-------------------------------	-----------

- 端島炭坑において、島内の遺構調査や平成26年夏頃に予定されているイコモス現地調査への対応を進めるため、調査ルートを整備します。
 - ・端島炭坑遺構調査ルート整備工事

関連事業	世界遺産登録推進事業費（「明治日本の産業革命遺産九州・山口と関連地域」）	22,000 千円
------	--------------------------------------	-----------

- 世界遺産登録に向けた各種調査及びアクションプランに基づく整備活用並びに関係自治体と連携して行う広報啓発等の登録推進事業を進めます。
 - ・構成資産周辺修景整備事業
 - ・来訪者受入体制支援事業
 - ・周知啓発事業（パンフレット作成、市民モニターツアーの実施等）

関連事業	「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」登録推進費	17,708 千円
------	-------------------------	-----------

- 増加が見込まれる来訪者への受入態勢を十分に整えていくために、重要文化的景観「長崎市外海の石積集落景観」の整備活用計画に基づき、構成資産周辺の駐車場、トイレ、回遊路、説明板の整備を進めます。
 - ・大野地区駐車場、トイレ、回遊路整備実施設計
 - ・重要文化的景観説明板の設置

関連事業	世界遺産登録推進事業費（「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」）	8,400 千円
------	---------------------------------	----------

4 地域コミュニティのしくみづくりプロジェクト

プロジェクトの概要

急速な少子高齢化の進行、核家族化や一人暮らし世帯の増加など家族形態の変化、価値観や生活スタイルの変化などに伴う無関心や個人主義の広まりなどにより、地域の一員であるという地域属性の意識や地域の連帯感が持ちにくい状況にある一方で、東日本大震災以降、地域コミュニティの必要性は改めて認識されているところです。

そこで、このプロジェクトでは、地域の主体性、自立性を尊重した地域コミュニティの活性化を推進するため、自治会を含む地域全体の力を集める新しいしくみづくりを積極的に支援していきます。

平成26年度の実行方針・主な取組み

実行方針

- 地域の主要な団体が集まる場（地域円卓会議）づくりを進め、開催地域を市内全域に広げるとともに、継続的な開催や内容の充実に向けた支援を行います。
- 平成24年度からの取組みを踏まえ、平成27年度以降のしくみや支援のあり方などについて検討します。

主な取組み

地域コミュニティの活性化を推進します。

- ① 地域カレンダーの作成などをきっかけとして地域円卓会議の場づくりを進めるとともに、地域の情報や各団体の活動を住民の方へ周知し、地域活動に対する関心を高めるため、地域情報紙の発行を支援します。
- ② 地域の住民や団体の皆さんが自らの地域を再認識し、他の地域の活動などを知り、お互いに学び合うことを支援します。
- ③ 地域の複数の団体が連携し、地域の様々な課題を解決するため、新規又は既存の事業を増強して実施する事業に対し、補助金又は必要な物品の交付による支援を行います。
- ④ 「地域コミュニティあり方委員会」を開催し、平成27年度以降のしくみや支援のあり方などについて検討します。

関連事業	地域コミュニティ推進費	20,712 千円
------	-------------	-----------

5 長く元気で！プロジェクト

プロジェクトの概要

長崎市は超高齢社会を迎えています。現在、団塊の世代の多くが65歳以上となり、人口が減少していく中、高齢者の人口は今後も増加していきます。

そこで、このプロジェクトでは、超高齢社会においても、高齢者が健康で生きがいをもって暮らしていける、新たなしくみづくりを進めていきます。

平成26年度の取組方針・主な取組み

取組方針

次の視点から、超高齢社会に対応した新たなしくみづくりを行います。

- ① 住み慣れた地域の中で、住民がお互いに交流を深め、健康づくり、生きがいづくりを進めることができる「健康・生きがいサロン（愛称 いってみゅ〜で）」を全ての小学校区に増やしていきます。
- ② 「健康・生きがいサロン」では、子どもや高齢者のふれあい、地域の自主グループの活動の中で、「健康・生きがいサロン」を支援する地域住民や、健康づくり推進員がお互いに協働して自主的な活動が行われるよう支援します。

主な取組み

- 身近にある公民館や集会所に高齢者が集い、そこに集まる市民が主体的に運営を行うことで、参加者の健康や生きがいづくりをはぐくみ、互いに地域で見守り、支え合う場の醸成に取り組みます。

関連事業	地域活動支援事業費 (高齢者ふれあいサロン事業)	9,349 千円
------	-----------------------------	----------

- 高齢者の生活・介護支援サポーターの養成講座を公民館等で開催し、ボランティアによる高齢者の支援の輪を広げ社会貢献や生きがいづくりを支援します。

関連事業	生活・介護支援サポーター事業費	5,112 千円
------	-----------------	----------

- 地域における健康づくりの担い手である食生活改善推進員やロードウォークサポーターをはじめとした健康づくり推進員の活動を通して、連携・協働による地域での健康づくりの普及活動等に取り組みます。

関連事業	地域健康づくり推進費	2,134 千円
------	------------	----------

- 祝捷山公園や臨岬ふれあい公園等に健康遊具等を設置し、健康遊具とウォーキングを組み合わせた「高齢者いきいきプログラム」を活用し、地域住民と一緒に健康づくりに取り組みます。

関連事業	公園等施設整備事業費 (祝捷山公園ほか(健康遊具設置))	31,000 千円
	公園施設整備事業費 (臨岬ふれあい公園(健康遊具設置))	10,000 千円

6 国際観光客誘致プロジェクト

プロジェクトの概要

少子化による修学旅行生の減少など、国の人口そのものが減少している中では、長崎市が国内観光客数を拡大させていくことは難しくなっており、海外からの観光客の誘致という視点が重要となっています。

そこで、このプロジェクトでは、主にアジア地域からの外国人観光客の誘客を図るとともに、国際クルーズ客船などからの外国人観光客がもたらす経済効果を最大限取り込むことで、まちの賑わいと経済活性化につなげることをめざします。

平成26年度の実行方針・主な取り組み

実行方針

- 市内外国人延宿泊者数を27万人にすることを目標に、「長崎市アジア・国際観光戦略」に基づき、長崎観光の楽しみ方の効果的な情報発信及び外国人観光客の受入体制の整備充実を図ります。
- 国際クルーズ客船の寄港数の拡大につながるような取り組みを進めます。
(平成25年国際クルーズ客船の乗客・乗務員数：76,959人)

主な取り組み

情報発信及び外国人観光客の受入体制の整備を行います。

- ① 英語版ホームページの充実など、東南アジアや欧米を対象とした国際観光都市“長崎”の認知度を向上させるための取り組みを強化します。
- ② 韓国における教育旅行・企業報奨旅行誘致の強化など、重要市場である東アジアからの観光客増加に向けた海外プロモーションの積極的な展開を図ります。
- ③ 世界遺産の認定に向けて受入体制の整備を図るとともに、夜景等による宿泊型観光の推進や富裕層旅行の誘致促進など、高付加価値化に向けた取り組みを進めます。

関連事業	アジア・国際観光客誘致対策費	21,620 千円
	釜山広域市職員派遣費	6,581 千円
	長崎港クルーズ客船受入委員会負担金	5,180 千円

7 長崎サミットプロジェクト

プロジェクトの概要

地域経済の衰退に歯止めをかけるため、平成22年7月に経済4団体（長崎商工会議所、長崎経済同友会、長崎県経営者協会、長崎青年会議所）を主体に、アドバイザーとして長崎大学及びオブザーバーとして長崎県、長崎市を加えた産学官7団体による「長崎都市経営戦略推進会議」が設置され、危機感の共有と、民間主導で行う地域経済活性化への具体的な取組み「長崎都市経営戦略推進プロジェクト」が始まっています。また、プロジェクトを推進していくうえで、課題の共有やトップダウンによるプロジェクトの早期実現を図るため、産学官7団体の長からなる「長崎サミット」が開催されています。

このプロジェクトでは、経済波及効果が大きい「基幹製造業」、「観光」、「水産業」、「教育（大学）」の4分野における重点推進項目を選定し、9つのワーキングチームにより、具体的なアクションプランの策定と実現に向けた取組みを行います。

平成26年度の取組方針・主な取組み

取組方針

主要4分野（基幹製造業、観光、水産業、教育（大学））での生産や雇用の誘発等の効果をもとめるため、長崎都市経営戦略推進会議及び長崎サミットとの連携を図り、民間が主体となって行う事業を積極的に支援するとともに、長崎市が主体で行う事業においても産学官の連携を強め、より効果的なものとなるように取組みを進めます。

主な取組み

- 企業の経営力強化へ向けた事業などへの支援により、ものづくりの中小企業の競争力強化を図ります。

関連事業	ものづくり支援費	7,147 千円
------	----------	----------

- 産学連携を推進し、大学等の持つ研究成果等を活用した創業や新商品開発等の支援により、経済の活性化を図ります。

関連事業	産学連携・創業支援費（挑戦型研究開発支援事業）	10,000 千円
------	-------------------------	-----------

- 事業実施段階における事業者の参画可能性を見極めつつ、事業内容の詳細に関する要求水準書（仕様書）案等の資料作成等を実施するとともに、整備予定用地の地権者をはじめとした関係機関との協議・調整、及び産学官が連携した受入体制の強化を図ります。

関連事業	コンベンション施設整備推進費	19,400 千円
------	----------------	-----------

- 外国人観光客を増加させることを目的とした受入体制の整備及び誘致活動を進めます。

関連事業	アジア・国際観光客誘致対策費（再掲）	21,620 千円
------	--------------------	-----------

- 長崎の水産練り製品のブランド化を進めて、売上増や域外域内への販路拡大等によって、経済の活性化を図ります。

関連事業	長崎水産練り製品ブランド化支援費	2,273 千円
------	------------------	----------

- 水産加工品の衛生管理の水準を向上し、販路開拓や販路拡大につなげます。

関連事業	HACCP（ハサップ）認証推進費	3,000 千円
------	------------------	----------

- このほか、おもてなしの環境を向上させるための公共空間の環境美化活動（アダプトプログラム）や、新大工から松が枝に至るまちなか軸を活かした「まちぶらプロジェクト」、「ながさき海洋・環境産業雇用創造プロジェクト」を活用した造船や海洋・環境エネルギーに係る人材の育成及び雇用創造の取組みなども進めます。

7 長崎サミットプロジェクト【MICE施設の設置】

プロジェクトの概要

コンベンションをはじめとするMICE（※注）の開催は、宿泊や飲食、運輸業など多岐にわたる分野で大きな経済波及効果をもたらすとともに、都市の知名度や魅力向上に寄与するものです。

しかしながら、長崎市におけるMICEの開催件数は、現状、頭打ち状態にあり〔年間1,000件程度〕、また、医療・平和・国際・造船・水産・観光という長崎の強みがありながら、医療分野以外は活かしきれていない状況です〔医療分野以外の学会・総会等会議があまり活発に開催されていない〕。

長崎市にはMICE専用施設がなく、また、それに対応するホテルも十分でないことから、分散会場での開催となることや、また、展示会場がないこと等も、MICE誘致の妨げの一因となっております。

そうした中、「人が集まりモノが動く活力あふれる経済基盤を備えた都市」をめざす長崎サミットの共同声明が出され、産学官一体で本格的なMICE施設の設置を検討することとしました。

そこで、このプロジェクトでは、国際観光文化都市「長崎」に相応しいMICE機能を再度検証し、それに見合う施設の設置について、施設整備から管理・運営・誘致に至るまで、民間活力を活かした事業形態を、産学官一体となって検討しています。

平成26年度の取組方針・主な取組み

取組方針

長崎市の都市成長戦略の柱としてMICEの振興に関する拠点施設となる「（仮称）長崎MICEセンター」の整備に向けて、事業内容の詳細検討を行います。

主な取組み

- 事業実施段階における事業者の参画可能性を見極めつつ、事業内容の詳細に関する要求水準書（仕様書）案等の資料作成等を実施するとともに、整備予定用地の地権者をはじめとした関係機関との協議・調整、及び産学官が連携した受入体制の強化を図ります。

関連事業	コンベンション施設整備推進費（再掲）	19,400 千円
------	--------------------	-----------

※注

MICE…多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称で、以下のものをいう。

- ①企業等が行う会議（Meeting ミーティング）
- ②企業等が行う報奨・研修旅行（Incentive Travel インセンティブトラベル）
- ③国際機関・団体、または学会等が行う会議（Convention コンベンション）
- ④展示会・見本市、イベント（Exhibition、Event エキシビジョン、イベント）

8 まちぶらプロジェクト

プロジェクトの概要

歴史的な文化や伝統を色濃く残し、様々な都市機能が集積している「まちなか」においては、少子化、高齢化により都市の活力の低下が予測されていることから、魅力の強化が必要になってきているところです。

そこで、このプロジェクトでは、まちなかの回遊性を促し賑わいの創出を図るため、新大工から浜町、大浦に至るまちなか軸の、軸線上の各エリアの魅力を高める面のまちづくりと、この面を連動させる軸づくりを進め、まちなかの魅力を具体的に見えるようにしていきます。

平成26年度の実行方針・主な取り組み

実行方針

まちぶらプロジェクトにおける各エリアの方針のもと、地元との調整を図りながら、町家の保存活用や路地の整備、銅座川プロムナードの整備、ばらチャレンジなどの事業を実施し、各エリアの個性や魅力を顕在化を図ります。

主な取り組み

《エリアのまちづくり》

- 新大工エリアで「商店街・市場を中心としたふだん着のまちづくり」に取り組みます。

関連事業	都市計画街路整備事業費 (片淵線：新大工)	5,000 千円
	商業活性化支援費補助金 (魅力発信事業：新大工町商店街)	3,000 千円
	駐車場施設整備事業費 (二輪車等駐車場：新大工)	15,000 千円

- 中島川・寺町・丸山エリアで「和のたたずまいと賑わいの粋なまちづくり」に取り組みます。

関連事業	道路新設改良事業費 (浜町伊良林1号線)	20,000 千円
	道路新設改良事業費 (鍛冶屋町古川町1号線)	25,000 千円
	公衆便所整備事業費 (丸山公園便所)	15,000 千円
	まちなか再生推進費 (まちなみ整備助成金)	10,000 千円
	商業活性化支援費補助金 (地域協働促進事業：中通り商店街)	2,880 千円
	文化財保存整備事業費補助金 (県指定史跡花月)	1,729 千円
	市民活動推進事業費補助金 (自治会集会所建設奨励：本古川町公民館)	10,000 千円

主な取組み

- 浜町・銅座エリアで「長崎文化を体感し、発信する賑わいのまちづくり」に取り組めます。なお、エリア内の銅座地区においては、地区の防災性を向上させるとともに、地域の魅力を高めるため、銅座川プロムナードの整備に向けた調査を実施します。

関連事業	河川等整備事業費 (銅座川)	196,000 千円
	新・商店街活性化モデル事業費補助金 (まちづくり戦略策定にかかる専門家配置：浜市商店街)	8,000 千円
	商店街賑わい整備事業費補助金 (案内看板設置：江戸町商店街)	1,250 千円
	道路新設改良事業費 (銅座界わい路地魅力向上)	31,000 千円
	アジア・国際観光客誘致対策費 (再掲) (クルーズ客船受入れおもてなし)	2,120 千円
	まちなか音楽会開催費	2,316 千円

- 館内・新地エリアで「中国文化に触れ、食を楽しむまちづくり」に取り組めます。

関連事業	都市計画街路整備事業費 (新地町稲田町線)	104,900 千円
	歴史的地区環境整備事業費 (唐人屋敷頭在化)	160,000 千円
	歴史的地区環境整備費 (唐人屋敷まちなみ整備助成金)	5,000 千円
	公衆便所整備事業費 (湊公園便所)	1,000 千円
	商店街賑わい整備事業費補助金 (イルミネーション改修：新地中華街商店街)	10,000 千円

- 東山手・南山手エリアで「異国情緒あふれる国際交流のまちづくり」に取り組めます。

関連事業	都市計画街路整備事業費 (片淵町松ヶ枝町線：大浦工区)	10,000 千円
	斜面市街地再生事業費 (南大浦地区：南大浦地区拠点地域再生事業)	191,600 千円
	文化財保存整備事業費 (国指定重要文化財旧長崎英国領事館)	30,000 千円
	国指定重要文化財旧グラバー住宅等保存活用計画策定費	6,253 千円
	文化財保存整備事業費補助金 (伝統的建造物群保存地区)	12,868 千円
	東山手・南山手地区魅力向上費	792 千円
	ばらチャレンジ事業費	3,000 千円
	グラバー園施設整備事業費	170,000 千円

主な取組み

《軸づくり》

- 「まちなか軸」を基軸として、各エリア間の回遊性を高める環境の整備を行います。また、長崎駅周辺や松が枝周辺等の周辺施設との連携軸の整備により「まちなか」への誘導を図ります。

関連事業	歴史文化基本構想策定費	10,547 千円
	まちなか再生推進費 (まちぶらプロジェクト推進事業)	14,300 千円
	道路新設改良事業費 (岩原川周辺環境整備)	50,000 千円
	まちなか再生推進費 (まちなみ修景計画策定)	5,000 千円
	都市計画推進事業費 (まちなか再生賑わい整備)	5,000 千円

《地域力によるまちづくり》

- 地域や市民自らが企業や行政、NPO等の多様な組織と連携を図りながら、まちを守り、育て、創るために行動し、その集積がまちなかを支えるような地域力や市民力を結集する取り組みを行います。

関連事業	まちなか再生推進費 (地域まちづくり活動事業)	1,000 千円
	まちなか再生推進費 (まちなか賑わいづくり活動支援)	2,000 千円
	まちなか魅力新発見事業費	640 千円
	まちなか商業人材サポート事業費	3,777 千円

9 都市再生プロジェクト

プロジェクトの概要

長崎市の未来につながる魅力あるまちづくりを戦略的・総合的に推進していくうえで、新幹線整備を契機とした長崎駅周辺の再整備、松が枝地区の国際観光船埠頭の整備など、中心部で計画され進められている各種事業や将来求められる新たな事業などを、まちの活性化につなげていくことが重要になってきています。

そこで、このプロジェクトでは、長崎市中央部・臨海地域における交流人口を拡大させるため、中心部を松が枝周辺エリア、長崎駅周辺エリア、まちなかエリア、中央エリアの4つのエリアで捉え、長崎県と連携し、各エリアの整備計画の事業化に取り組み、都市の魅力の強化、回遊性の充実、国際ゲートウェイ機能の再構築を行っていきます。

平成26年度の実行方針・主な取組み

実行方針

長崎市中央部・臨海地域の松が枝周辺エリア、長崎駅周辺エリア、中央エリア、まちなかエリアの各整備計画に基づき、事業を着実に実施し、都市の再生を図ります。

主な取組み

- 長崎駅周辺土地区画整理事業などを着実に推進します。

関連事業	土地区画整理事業費 (長崎駅周辺地区)	676,000 千円
------	------------------------	------------

- 九州新幹線西九州ルート建設事業、連続立体交差事業など主要プロジェクトの促進を図ります。

関連事業	九州新幹線西九州ルート建設事業費負担金	71,000 千円
関連事業	都市計画費負担金(社会資本整備総合交付金事業費、旧地方特定道路整備事業費、JR長崎本線連続立体交差事業費)	752,250 千円

- 都市計画道路大黒町恵美須町線(ホテルニュー長崎前の旭大橋東口交差点から長崎中央郵便局までの間の道路)拡幅の事業認可を取得し、整備を進めます。

関連事業	都市計画街路整備事業費 (大黒町恵美須町線)	21,000 千円
------	---------------------------	-----------

※ 都市再生プロジェクトには、「まちぶらプロジェクト」(16~18ページ)の取組みも含まれています。

10 出島表門橋架橋プロジェクト

プロジェクトの概要

出島表門橋の架橋により、江戸町側から当時と同じように橋を渡って出島に足を踏み入れ、復元した街並みを見ることができ、海に浮かんでいた19世紀初頭の出島を実感できるようになります。

そこで、このプロジェクトでは、関係権利者との交渉等を進めるとともに、平成26年度に工事に着手し、乙名詰所など出島中央部6棟の復元完成時期に合わせ、平成28年度までの架橋完成をめざします。

平成26年度の実行方針・主な取り組み

実行方針

遺構確認のため、江戸町側の表門橋施工区域の発掘調査等を行うとともに、シンポジウムの開催等を通じて市民の皆様と意見を交えながら、出島表門橋と周辺整備に係る設計業務を進めます。

主な取り組み

- 出島表門橋と周辺整備に係る設計業務を進めます。
江戸町側の発掘調査、中島川のボーリング調査を行います。

関連事業	出島復元整備事業費（出島表門橋）	31,700 千円
------	------------------	-----------

- 市民への周知と理解を図るために、シンポジウムを開催します。

関連事業	出島復元推進費（出島表門橋整備推進費）	1,950 千円
------	---------------------	----------

- 出島復元計画と一体的な中島川公園の整備を図るための用地を取得します。
（土地取得特別会計からの買戻し）

関連事業	公園等施設整備事業費 （中島川公園（出島対岸地区））	190,000 千円
	近隣公園整備事業費 （中島川公園（出島対岸地区））	851,000 千円

11 市役所カワルプロジェクト（旧：しごと改革プロジェクト）

プロジェクトの概要

市民ニーズが多様化・高度化するなか、効率的かつ効果的な行政サービスが求められています。また、市民の皆さんと協働してまちづくりを進めていくためには、信頼される市役所でなくてはなりません。

そこで、このプロジェクトでは、職員が常に市民起点でしごとに取り組み、成果をあげられる市役所になることをめざし、市民満足度の向上につながるしごと改革を推進していきます。そのためには、「自ら考え、自ら発信し、自ら行動する自立型」へ転換し、また「市民や企業等と連携する協働型」、「今の時代に合わせた仕組みやルールを作り出す創造型」をプラスして仕事に取り組む職員の意識を醸成していきます。併せて職員がいまよりもっと活躍する環境を整え職員のやる気を引出すとともに、持続的な市役所の成長につながる組織マネジメントの確立をめざします。

平成26年度の実行方針・主な取り組み

実行方針

- 職場内でのコミュニケーション向上を図るための対話を促進し、職場がチーム一丸となり仕事を行う環境づくりに取り組みます。
- 時代に合った新しい仕事のやり方に挑んでいく「チャレンジ精神」の醸成に取り組みます。
- 管理職の職場マネジメント力を向上するため、組織経営・職場活性化に向けた意識の醸成と環境づくりに取り組みます。
- 市役所のめざす姿と求められる職員像を明示します。

主な取り組み

- ① 【対話の促進】
対話の機会を数多くつくることで、職場内の良好な人間関係を構築し、本音で意見交換できる職場環境をつくります。
・全職場での職場ミーティングの実施
・世代別オフサイトミーティングの実施
- ② 【気づき・きっかけ】
職員一人ひとりが、自分たちの置かれている状況を把握し、変化の必要性に気づき、行動を変えていくきっかけをつくります。
・まるかじり講座の開催
・危機感情報ツールの作成
- ③ 【マネジメント力の向上】
管理職が職場を活性化するしくみと環境を整えます。
・行政経営研修の実施（経営幹部、管理職（所属長））
- ④ 【組織ビジョンの明示】
世界都市・人間都市を実現するために、市役所組織と職員個人がどのような成長をめざすのか、市役所のめざす姿や求められる職員像などの指針を明示します。
・職員と組織の育成方針の策定

関連事業	行政マネジメント推進費	4,689 千円
------	-------------	----------

12 地域振興プロジェクト

プロジェクトの概要

市町村合併後、合併地区においては行政機能の集約化による人口減少はあったものの、長崎市都心部のベッドタウン的な地区にあっては人口減少傾向も遅減している状況です。

一方、離島や過疎地域においては引き続き人口減少と高齢化が進行し、従来からの課題であった雇用の場の確保と定住人口の拡大に加え、コミュニティの維持・地域の活力の低下が課題となっています。

そこで、このプロジェクトでは、地域住民とともに策定した地域振興計画を基に、地域の個性を活かした地域振興策を推進します。

平成26年度の実行方針・主な取り組み

実行方針

- 地域振興計画の早期事業化に努めます。
- 住民の参画をさらに促し、住民と協働で地域の個性を活かしたまちづくりを推進します。

主な取り組み

- 地域おこし協力隊の活動がさらに充実するための支援を行います。

関連事業	地域おこし協力隊事業費	26,000 千円
------	-------------	-----------

- 地域振興計画に基づく事業の具体化を進めます。

関連事業	虹色のまちづくり推進事業費	5,626 千円
	公園施設整備事業費（伊王島塩町公園）	3,000 千円
	しまとく通貨発行費	4,599 千円
	港湾施設整備事業費（高島港ターミナル）	32,000 千円
	離島・過疎地域振興対策事業費（野母崎高浜海岸交流施設整備）	175,000 千円
	公園施設整備事業費（元宮公園）	4,000 千円
	池島産業遺産活用事業費	15,000 千円

13 公共施設マネジメント推進プロジェクト<新規>

プロジェクトの概要

長崎市の公共施設は、老朽化が進んでおり、人口の減少や少子高齢化の進行など、公共施設を取り巻く状況が変化し、求められる役割も多様化していることから、将来を見据えた公共施設のあり方を抜本的に見直す時期が到来しています。

また、厳しい財政状況の下、これからの公共施設をどのように維持・更新していくについては、施設のさらなる有効活用や将来を見据えた適正配置など、無駄をなくす取組みも必要です。

そこで、このプロジェクトでは、身の丈に合った公共施設への転換を進め、将来にわたって持続可能な行財政運営を図るとともに、施設を活用した地域コミュニティの拠点づくりや、施設の計画的な予防保全及び長寿命化による安全性・機能性の向上などにより、子どもから高齢者までだれもが暮らしやすいまちづくりをめざし、将来の公共施設のあり方を再構築していきます。

平成26年度の取組方針・主な取組み

取組方針

- 公共施設マネジメントの専門家からアドバイザー支援を受け、多角的な視点を取り入れた実効性のある公共施設マネジメントの取組みを進めます。
- 長崎市の公共施設マネジメントの取組みに対する市民の理解を深め、公共施設の再構築について合意形成を図っていきます。

主な取組み

- ① 専門家からのアドバイザー支援により、行政サービス分野ごとに公共施設の将来のあり方を示す「公共施設の用途別適正化方針」を策定するとともに、マネジメントの先事例となる施設の複合化・多機能化のモデルプランを検討します。
- ② 出前講座や広報ながさきなどを活用した周知・啓発活動を行います。

関連事業	公共施設マネジメント推進費	3,384 千円
------	---------------	----------

平成26年度 各部局等の重点的取組み

防災危機管理室

重点化方針

自助・共助・公助の連携による地域防災力の向上

重点的施策 1

自主防災組織の結成促進と活性化

主な取組み

- ・自主防災組織未結成自治会への地域防災マップづくり、結成説明会及び地域担当職員との連携強化による結成促進
- ・地域の特性(密集地、急傾斜地、高齢化など)による様々な自主防災活動の阻害要因の分析及び効率的な地域別活動の提案
- ・自主防災組織の核となる市民防災リーダーの連携強化と再講習等の実施による資質向上と活動の活性化
- ・市民防災リーダーに占める女性割合の向上と避難所運営訓練等への女性参加の促進

予算化する 主な事業	基本施策	予算区分	事業名	担当所属名	予算額
	E1	継続	地域防災マップ作成費	防災危機管理室	2,905 千円

重点的施策 2

円滑な自主避難の促進

主な取組み

- ・防災講話や地域防災マップづくりを通しての地域特性に応じた自主避難の重要性の喚起
- ・一時避難できる安全な建物の地域確保による早期自主避難の促進
- ・指定緊急避難場所への総合案内板設置による緊急時における住民の円滑な避難行動の促進

予算化する 主な事業	基本施策	予算区分	事業名	担当所属名	予算額
	E1	臨時	指定緊急避難場所表示板(総合案内板設置)	防災危機管理室	42,700 千円

重点的施策 3

災害対応力の強化

主な取組み

- ・大規模災害を想定しての本部運営と各部任務に係る全所属長対象の専門講師による実践的防災研修の実施
- ・民間気象情報機関との連携による「避難勧告等の判断・伝達マニュアル」の検証と専門的助言を受けることでの迅速かつ的確な避難勧告等の発令
- ・災害対策基本法の大幅な改正に伴う地域防災計画の見直し
- ・避難所の良好な生活環境の確保と特設電話機の新設

予算化する 主な事業	基本施策	予算区分	事業名	担当所属名	予算額
	E1	拡大	災害対策活動費 (災害対策本部運営・避難所運営研修委託)	防災危機管理室	254 千円
	E1	創造・挑戦枠	災害対策活動費(水防対策支援情報提供委託)	防災危機管理室	1,296 千円
	E1	臨時	災害対策活動費(地域防災計画書作成委託)	防災危機管理室	8,954 千円
	E1	臨時	災害対策活動費(指定避難所用特設電話機購入)	防災危機管理室	1,550 千円

※予算額については、記載した事業(拡大事業の場合は拡大部分)に係る額のみを記載しています。

平成26年度 各部署等の重点的取組み

企画財政部

重点化方針

施策推進基盤を整え、施策の見える化を促進

重点的施策 1

世界遺産登録の推進

主な取組み

- ・端島（軍艦島）の保存・整備（保存管理計画の策定）
- ・イコモス現地調査対応（調査ルート等環境整備、周知啓発、リハーサルほか）
- ・受入態勢の整備（駐車場、トイレ、説明板ほか）

予算化する 主な事業	基本施策	予算区分	事業名	担当所属名	予算額
	A1	継続		「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域」登録推進費	世界遺産推進室
A1	新規		世界遺産登録推進事業費「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域」	世界遺産推進室	22,000 千円
A1	継続		「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」登録推進費	世界遺産推進室	17,708 千円
A1	新規		世界遺産登録推進事業費「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」	世界遺産推進室	8,400 千円

重点的施策 2

施策推進基盤の整備

主な取組み

- ・簡潔で分かりやすい施策推進体系の構築と効率的な運用
- ・総合計画の進捗状況、中期財政見通しの分かりやすい公表
- ・職員・市民の協働意識の醸成
- ・自治基本条例の検討

予算化する 主な事業	基本施策	予算区分	事業名	担当所属名	予算額
	H1	新規		「飛び出す団塊シニア世代」交流促進事業費	市民協働推進室
H2	拡大		提案型協働事業推進費（研修会の開催）	市民協働推進室	89 千円
H2	継続		自治基本条例検討費（検討委員会、シンポジウム開催）	総合企画室	7,806 千円
H3	拡大		基本計画策定費（基本指標推計・基礎データ作成）	総合企画室	2,306 千円

重点的施策3

合併地区の振興

主な取組み

- ・合併本来の目的に沿った合併の検証
- ・地域振興計画の具体化及び取組状況の地域への周知

	基本施策	予算区分	事業名	担当所属名	予算額
予算化する 主な事業	A2	拡大	虹色のまちづくり推進事業費 (伊王島島内案内板整備、川原大地公園のあり方検討)	地域振興課	2,740 千円
	A2	継続	池島産業遺産活用事業費	地域振興課	15,000 千円
	A2	拡大	地域おこし協力隊事業費 (定住支援、新規隊員募集)	地域振興課	4,006 千円
	A2	継続	離島・過疎地域振興対策事業費 (野母崎高浜海岸交流施設整備)	地域振興課	175,000 千円

※予算額については、記載した事業（拡大事業の場合は拡大部分）に係る額のみを記載しています。

※重点的施策1については、平成26年4月から総務局長直下となる「世界遺産推進室」において、重点プロジェクトとして取り組みます。

平成26年度 各部署等の重点的取組み

総務部

重点化方針 市民に信頼される市役所づくり

重点的施策1 時代の変化に柔軟に対応できる組織づくり（本庁集約型組織から分散型組織への転換）

主な取組み

- ・支所、総合支所、本庁の業務分担、機能分担の精査
- ・支所、総合支所の業務執行体制や組織、職員配置、本庁組織の見直しの具体的な検討
- ・支所、総合支所の設置数や設置箇所、設置にあたって解決すべき事項の具体的な検討

重点的施策2 課題に自ら対応できる職員づくり

主な取組み

- ・職員の能力・適性・専門性に基づく人事配置
- ・将来の職員像を踏まえた戦略的な研修の実施
- ・公務遂行に支障のある職員への対応方針の策定・運用
- ・メンタルヘルス不調の未然防止策の検証・改善・追加実施

	基本施策	予算区分	事業名	担当所属名	予算額
予算化する 主な事業	H3	継続	研修所研修費	人事課	8,612 千円
	H3	継続	職員安全衛生管理費	人事課	46,990 千円

※予算額については、記載した事業（拡大事業の場合は拡大部分）に係る額のみを記載しています。

平成26年度 各部局等の重点的取組み

理財部

重点化方針

- ・ 自主財源の一層の確保に努め、健全な財政基盤を確立する
- ・ 公共工事の適正な施工を確保し、良質な社会資本の整備を図る

重点的施策 1

経営資源としての市有財産の効果的・効率的活用の推進

主な取組み

- ・ 公共施設マネジメントの推進
- ・ 市有財産を活用した収入増対策の実施

予算化する 主な事業	基本施策	予算区分	事業名	担当所属名	予算額
	H3	新規	公共施設マネジメント推進費	資産経営室	3,384 千円
H3	—	収入増対策（公募型自動販売機設置、遊休地・不用車両等の売却推進）	財産活用課	— 千円	

重点的施策 2

課税客体の完全捕捉と債権回収の向上・強化

主な取組み

- ・ 税務調査の強化
- ・ 現年分徴収向上と差押え等滞納処分の強化
- ・ 債権管理の強化

予算化する 主な事業	基本施策	予算区分	事業名	担当所属名	予算額
	H3	拡大	一般管理費事務費（ふるさと納税に係る経費）	収納課	1,403 千円
H3	継続	固定資産評価費（航空写真による家屋の経年異動判読業務）	資産税課	2,000 千円	
H3	—	全庁的な債権管理の取組強化（回収に係る進行管理の徹底、強制執行を前提とした法的措置の推進）	収納課	— 千円	

重点的施策 3

公共工事等の品質及び適正な履行の確保

主な取組み

- ・ 工事成績、業務委託成績の公表、工事成績条件付入札の拡充
- ・ 建設工事に係る業務委託業者に対する評価制度及び評定点による指名停止措置の導入
- ・ 工事検査、委託業務完了検査の技能研修の拡充

予算化する 主な事業	基本施策	予算区分	事業名	担当所属名	予算額
	H3	継続	入札・契約制度適正化推進費	契約検査課	32,165 千円

※予算額については、記載した事業（拡大事業の場合は拡大部分）に係る額のみを記載しています。

※「公共施設マネジメントの推進」については、平成26年4月から市長直下となる「資産経営室」において、重点プロジェクトとして取り組みます。

平成26年度 各部局等の重点的取組み

市民生活部

重点化方針

市民の暮らしをより便利で快適なものとするため、課題解決に取り組む

重点的施策 1

市民の利便性を高めるためのコンビニ交付の実施と民間のノウハウを活用した窓口サービスの実施

主な取組み

- ・各種証明書をコンビニエンスストアで発行できるシステムの構築
- ・市民課業務の一部を民間事業者へ委託

予算化する 主な事業	基本施策	予算区分	事業名	担当所属名	予算額
	H3	創造・挑戦枠	コンビニ交付システム整備費	市民課	5,400 千円
	H3	創造・挑戦枠	市民課窓口事務委託費	市民課	43,117 千円

重点的施策 2

自治会加入率向上対策の実施と自治会活性化のための支援強化

主な取組み

- ・商工会議所、長崎市勤労者サービスセンターを通じた会員企業向けの自治会加入対策
- ・「自治会活動の手引き」に掲載している活性化事例やサポーター制度の活用を地域担当職員と連携して推進する。

予算化する 主な事業	基本施策	予算区分	事業名	担当所属名	予算額
	H1	拡大	まちづくり活動推進費 (商工会議所等を通じた加入促進)	自治振興課	157 千円

重点的施策 3

国体終了後の競技力向上対策の推進とスポーツ振興策の検討

主な取組み

- ・国体終了後のジュニア競技力向上対策事業の方針を決定する。
- ・市民一人ひとりが生涯にわたってスポーツに親しむことができる環境の実現に向け、平成27年度以降の新たなスポーツ推進の指針となる長崎市スポーツ推進計画を策定する。

予算化する 主な事業	基本施策	予算区分	事業名	担当所属名	予算額
	G3	継続	ジュニアスポーツ競技力向上対策費補助金	スポーツ振興課	15,257 千円

※予算額については、記載した事業（拡大事業の場合は拡大部分）に係る額のみを記載しています。

平成26年度 各部署等の重点的取組み

国体推進部

重点化方針

すべての人々の記憶に残る魅力ある大会を開催し、スポーツを通じた人づくり・まちづくりにつなげる

重点的施策

- ・市民協働による大会
- ・おもてなしの心による大会
- ・選手の持てる力を発揮できる大会
- ・競技力の向上と生涯スポーツの振興につなげる大会
- ・長崎市の魅力を発信する大会
- ・平和の尊さ、すばらしさを伝える大会

主な取組み

- (1) リハーサル大会（国体2競技・障害者スポーツ大会5競技）の開催及び本大会開催準備の促進
 - ・競技会運営能力の向上、開催機運の醸成
 - ・広報啓発、炬火イベントの実施
- (2) 長崎がんばらんば国体（第69回国民体育大会）の開催
 - <市民協働による大会>
 - ・運営ボランティア活動、花いっぱい運動
 - <おもてなしの心による大会>
 - ・ドリンクサービス、おもてなし料理の実施
 - ・総合案内所、各競技会場受付案内、売店の設置
 - <選手の持てる力を発揮できる大会>
 - ・競技会場・練習会場の施設改善、競技用具等の整備・購入
 - <競技力の向上と生涯スポーツの振興につなげる大会>
 - ・競技普及活動、デモスポ3行事の実施
 - <長崎市の魅力を発信する大会>
 - ・文化プログラムの実施、交流ひろば（長崎駅かもめ広場）の設置
 - <平和の尊さ、すばらしさを伝える大会>
 - ・平和と友好の輪を広げる活動、被爆の実相を伝える活動
- (3) 長崎がんばらんば大会（第14回全国障害者スポーツ大会）の開催
 - ・大会参加者のニーズに即した円滑な競技会の運営
 - ・開催に向け、障害者団体・長崎県との連携、協力
- (4) 人づくり・まちづくりにつなげる取組み
 - ・大会の記録・記憶をとどめる大会報告書の作成、配布
 - ・おもてなしの心を持った大会運営能力の蓄積、継承

予算化する 主な事業	基本施策	予算区分	事業名	担当所属名	予算額
	G3	臨時	長崎がんばらんば国体長崎市実行委員会負担金	総務企画課 競技運営課	1,629,200 千円

※予算額については、記載した事業（拡大事業の場合は拡大部分）に係る額のみを記載しています。

平成26年度 各部署等の重点的取組み

原爆被爆対策部

重点化方針

核兵器のない世界の実現に貢献する

重点的施策 1

被爆の実相を継承する

主な取組み

- ・原爆資料館収蔵資料のインターネット公開
- ・米国国立公文書館における原爆資料の調査収集活動
- ・長崎原爆に関する情報を集約したホームページの制作
- ・長崎原爆遺跡の指定文化財化に向けた調査・研究
- ・被爆二世・三世への被爆体験継承の推進
- ・原爆資料館の整備（展示更新計画の策定、施設・設備の改修）
- ・被爆70周年に向けた取組みの検討及び市民協働事業の選定

予算化する 主な事業	基本施策	予算区分	事業名	担当所属名	予算額
	B1	新規	被爆資料インターネット公開費	被爆継承課	3,220 千円
B1	継続	米国国立公文書館原爆資料調査費	被爆継承課	7,236 千円	
B1	継続	長崎原爆遺跡調査・研究費	被爆継承課	29,631 千円	
B1	新規	「語り継ぐ家族の被爆体験（家族証言）」推進費	被爆継承課	1,996 千円	
B1	新規	平和情報サイト「長崎原爆の記憶」制作費	被爆継承課	1,109 千円	
B1	新規	平和施設整備事業費 原爆資料館	平和推進課	44,000 千円	
B2	新規	被爆70周年記念事業選定審査会費	調査課	123 千円	
B2	新規	平和祈念式典事業費 （「デルノア通り」説明板設置事業）	調査課	2,478 千円	

重点的施策 2

平和発信を強化する

主な取組み

- ・「世界こども平和会議」プレ大会の開催
- ・長崎大学核兵器廃絶研究センター（RECNA）や平和首長会議等との連携による国際社会への平和アピール発信の強化

予算化する 主な事業	基本施策	予算区分	事業名	担当所属名	予算額
	B1	新規	世界こども平和会議費	被爆継承課	3,454 千円
B2	継続	平和推進活動費 （NPT再検討会議準備委員会でのアピール活動）	平和推進課	3,048 千円	

※予算額については、記載した事業（拡大事業の場合は拡大部分）に係る額のみを記載しています。

平成26年度 各部局等の重点的取組み

福祉部

重点化方針

地域で生きがいをもって暮らせる

重点的施策 1

生活保護受給世帯及び生活困窮者の自立に向けた支援

主な取組み

- ・生活保護受給者への就労支援の促進
- ・生活保護受給世帯の中学3年生を対象とした学習支援
- ・生活困窮者の自立相談支援事業等のモデル事業の実施

予算化する 主な事業	基本施策	予算区分	事業名	担当所属名	予算額
	F6	継続	生活保護受給者就労支援費	生活福祉2課	71,453 千円
	F6	拡大	子どもの健全育成支援費 (学習支援事業)	生活福祉2課	6,200 千円
	F6	新規	生活困窮者自立促進支援モデル事業費	生活福祉2課	35,785 千円

重点的施策 2

障害者の就労支援及び地域での支援体制の整備

主な取組み

- ・障害者雇用の開拓、就労相談支援の実施
- ・障害者就労施設等からの物品等の優先調達の推進
- ・授産製品の販売促進
- ・障害の早期発見、早期療育の実施
- ・地域における相談支援体制の充実
- ・地域の連携とネットワークの強化（自立支援協議会の運営活性化）

予算化する 主な事業	基本施策	予算区分	事業名	担当所属名	予算額
	F3	継続	障害者雇用開拓費	障害福祉課	3,143 千円
	F3	継続	障害者就労支援相談所運営費	障害福祉課	5,529 千円
	F3	継続	授産製品販売促進費	障害福祉課	12,800 千円
	F3	継続	診療所費	障害福祉課	80,939 千円
	F3	継続	障害児等療育支援費	障害福祉課	8,706 千円
	F3	継続	障害者相談支援費	障害福祉課	15,000 千円
	F3	継続	相談支援費	障害福祉課	16,976 千円

重点的施策 3

高齢者の社会参加の促進及び認知症の早期発見

主な取り組み

- ・高齢者ふれあいサロンの増設
- ・高齢者サロンサポーター養成講座の実施
- ・認知症地域支援体制の整備

予算化する 主な事業	基本施策	予算区分	事業名	担当所属名	予算額
	F2	拡大	地域活動支援事業費 (高齢者ふれあいサロン事業)	高齢者すこやか支援課	2,314 千円
F2	継続	生活・介護支援サポーター事業費	高齢者すこやか支援課	5,112 千円	
F2	継続	認知症地域支援体制整備事業	高齢者すこやか支援課	62,618 千円	

※予算額については、記載した事業（拡大事業の場合は拡大部分）に係る額のみを記載しています。

平成26年度 各部局等の重点的取組み

市民健康部

重点化方針

市民が健康で安心して暮らせるまちをめざします

重点的施策 1

生活習慣病の予防

主な取組み

- ・各種健診の受診率向上モデル事業による生活習慣病の予防・早期発見
- ・「第二次健康長崎市民21」計画に基づく地域・職域と連携協働した取組み
- ・新たに導入する福祉系システムを利用したがん検診未受診者への受診勧奨
- ・慢性腎臓病（CKD）の普及啓発、病診連携の稼働、訪問栄養指導の拡充
- ・「口腔保健支援センター」の設置による歯科口腔保健の推進
- ・禁煙支援ネットワークを活用した禁煙相談、禁煙指導

予算化する 主な事業	基本施策	予算区分	事業名	担当所属名	予算額
	F7	新規	健診等受診率向上モデル事業	国民健康保険課	1,595 千円
F7	拡大	がん予防対策費 (働く世代の女性支援のためのがん検診推進事業)	健康づくり課	120,586 千円	
F7	継続	生活習慣病予防対策費 (慢性腎臓病（CKD）予防対策)	健康づくり課	6,749 千円	
F7	新規	歯科口腔保健連携推進費	健康づくり課	1,184 千円	
F7	拡大	禁煙対策費 (禁煙サポート事業)	健康づくり課	886 千円	

重点的施策 2

持続可能な医療体制の構築

主な取組み

- ・地域の特性に応じた医療提供体制の確保及び介護・福祉を含めた連携体制の構築
- ・地域医療検討会や輪番病院会議において医療機能分化や連携に向けた協議の実施
- ・長崎市立病院機構中期目標に基づく、新市立病院建設の確実な進捗及び高度・急性期医療の充実

予算化する 主な事業	基本施策	予算区分	事業名	担当所属名	予算額
	F9	継続	地域医療対策費	地域医療室	634 千円
F9	継続	南部地区救急拠点病院運営費補助金	地域医療室	21,098 千円	
F9	新規	民間病院施設整備事業費補助金（ニュー琴海病院）	地域医療室	30,000 千円	
F9	継続	長崎市立病院機構運営費負担金	地域医療室	905,527 千円	
F9	継続	長崎市立病院機構運営費補助金	地域医療室	254,980 千円	

※予算額については、記載した事業（拡大事業の場合は拡大部分）に係る額のみを記載しています。

平成26年度 各部署等の重点的取組み

こども部

重点化方針

子どもが健やかに育つ土壌を豊かにする

重点的施策 1

乳幼児の育ちとその親の育ちの支援の充実

主な取組み

- ・親育ちや子育てを支え、父親の子育て力を高める取組み
- ・「保育所待機児童ゼロ」に向けた保育所整備（定員増を伴う認可保育所施設整備、私立幼稚園の幼保連携型認定こども園移行に伴う施設整備）
- ・「子ども・子育て支援事業計画」の策定など平成27年度からの子ども・子育て支援新制度施行に向けた取組み
- ・いじめ、児童虐待及び体罰等から子どもを守るための取組み

	基本施策	予算区分	事業名	担当所属名	予算額
	予算化する 主な事業	F1	拡大	親育ち学びあい事業費 （新規講座の実施）	子育て支援課
F4		拡大	妊産婦健康診査費 （妊婦感染予防対策モデル事業の実施）	こども健康課	14,211 千円
F4		新規	伊王島小規模保育施設運営費補助金	幼児課	6,965 千円
F4		継続	子ども・子育て支援事業計画策定費	子育て支援課	4,038 千円
F4		継続	子ども・子育て支援システム整備費	幼児課	56,279 千円
F4		新規	子どもを守る取組推進費	子育て支援課	2,796 千円

※予算額については、記載した事業（拡大事業の場合は拡大部分）に係る額のみを記載しています。

平成26年度 各部局等の重点的取組み

環境部

重点化方針

環境負荷の少ない持続可能な魅力ある故郷を次の世代へ引き継ぐ

重点的施策 1

ごみの減量・リサイクルの促進等による循環型社会形成の推進

主な取組み

- ・ 小型家電の新たな分別収集の検討と生ごみの減量及び古紙の分別収集の徹底
- ・ 新西工場建設に伴うプラスチック製容器包装以外のプラスチックの焼却及び展開検査の徹底による埋立処分量の減量化・埋立処分場の延命化
- ・ し尿収集体制の効率化及びし尿処理施設の縮小・延命化

予算化する 主な事業	基本施策	予算区分	事業名	担当所属名	予算額
	D2	継続	環境啓発推進費		廃棄物対策課
D2	継続	生ごみ減量推進費（生ごみ処理機購入補助等）		廃棄物対策課	2,110 千円
D2	拡大	資源物拠点回収モデル事業費 （古布及び小型家電の拠点回収）		廃棄物対策課	718 千円
D2	新規	「長崎おもちゃ病院」との協働による廃棄物減量啓発		廃棄物対策課	- 千円
D2	継続	レジ袋削減対策（長崎県との協働による廃棄物減量推進）		廃棄物対策課	- 千円
D2	継続	新西工場建設事業費（ごみ焼却施設建設）		環境整備課	814,000 千円
D2	継続	し尿処理施設整備事業費（琴海クリーンセンター）		クリーンセンター	80,000 千円

重点的施策 2

市民の環境意識の高揚及び全市民的な環境行動の実践

主な取組み

- ・ 「ながさきエコライフ」の浸透と定着に向けたイベント等の内容の充実及び「ながさきエコネット」の拡大
- ・ ボランティア清掃の積極的支援など市民協働による環境美化の推進（長崎がんばらんば国体と連携したイベントの実施等）
- ・ 産学官民協働による環境教育・学習の推進

予算化する 主な事業	基本施策	予算区分	事業名	担当所属名	予算額
	D5	継続	地球温暖化対策市民運動推進費		環境保全課
E8	継続	市民協働環境美化推進費		廃棄物対策課	2,945 千円
E8	新規	長崎がんばらんば国体に連動した環境美化イベント（街を美しくする運動推進協議会補助金）		廃棄物対策課	255 千円

重点的施策 3		再生可能エネルギーの導入促進等による低炭素社会の実現			
主な取組み <ul style="list-style-type: none"> ・自動車使用の低炭素化に向けたノーマイカー&エコドライブの推進 ・「ながさきソーラーネットプロジェクト」の確実な実施とさらなる再生可能エネルギーの導入促進 					
予算化する 主な事業	基本施策	予算区分	事業名	担当所属名	予算額
	D1	継続	メガソーラー事業費	環境保全課	37,029 千円
	D1	継続	市民エネルギーファンド連携・支援	環境保全課	- 千円

重点的施策 4		生物多様性保全の啓発等による自然共生社会の実現			
主な取組み <ul style="list-style-type: none"> ・学習会・観察会等を活用した希少動植物の保護及び外来種の拡散抑制 ・相川休耕田等の地元との協働による自然再生と活用 					
予算化する 主な事業	基本施策	予算区分	事業名	担当所属名	予算額
	D4	継続	自然環境保全推進費	環境保全課	1,894 千円
	D4	新規	長崎市外来種リストの作成	環境保全課	- 千円

※予算額については、記載した事業（拡大事業の場合は拡大部分）に係る額のみを記載しています。

平成26年度 各部署等の重点的取組み

商工部

重点化方針	外貨の獲得と域内経済の好循環により、雇用の拡大と所得の向上を図る
-------	----------------------------------

重点的施策 1	企業立地の推進
---------	---------

主な取組み	・積極的な誘致活動
-------	-----------

予算化する 主な事業	基本施策	予算区分	事業名	担当所属名	予算額
		C3	継続	企業誘致推進費	産業雇用政策課

重点的施策 2	地場製造業の競争力強化の支援
---------	----------------

主な取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・経営力を高める人材育成 ・基幹製造業（造船業）の支援 ・大学との連携による新規事業・創業の支援 ・水産加工品の競争力強化の支援
-------	---

予算化する 主な事業	基本施策	予算区分	事業名	担当所属名	予算額	
		C1	継続	産業育成支援費	産業雇用政策課	3,920 千円
		C1	新規	優れモノ認証費	産業雇用政策課	580 千円
		C2	拡大	ながさき海洋・環境産業雇用創造プロジェクト推進費 (プロジェクトに対する地元自治体負担金)	産業雇用政策課	2,738 千円
		C2	拡大	長崎港活性化センター補助金 (コンテナ貨物向け助成制度の拡充)	産業雇用政策課	6,800 千円
		C3	拡大	産学連携・創業支援費 (挑戦型研究開発支援事業)	産業雇用政策課	10,000 千円
		C2	新規	HACCP(ハサップ)認証推進費	産業雇用政策課	3,000 千円

重点的施策 3

まちなか商業（中心商業地）の振興と地域商業の充実

主な取組み

- ・まちぶらプロジェクトの推進と商店街のにぎわい創出支援
- ・商店街の施設整備支援
- ・商業人材の育成

	基本施策	予算区分	事業名	担当所属名	予算額
	予算化する 主な事業	C4	新規	新・商店街活性化モデル事業費補助金	商業振興課
C4		拡大	商業活性化支援費補助金 (商店街にぎわいソフト事業、商店街地域協働促進事業)	商業振興課	5,880 千円
C4		拡大	商店街賑わい整備事業費補助金 (イルミネーション改修、案内看板設置)	商業振興課	11,250 千円
C4		継続	まちなか商業人材サポート事業費	商業振興課	3,777 千円

※予算額については、記載した事業（拡大事業の場合は拡大部分）に係る額のみを記載しています。

平成26年度 各部署等の重点的取組み

文化観光部

重点化方針

- ・長崎独自の資源の磨上げや効果的な情報発信により交流人口増加を図り観光消費額の増加をめざす
- ・長崎の歴史・文化を守り伝承するとともに、文化芸術に親しむ環境づくりを図る

重点的施策 1

交流人口の拡大対策
 ※夜景観光の推進 ※国体や世界遺産関連への対応 ※国際交流の推進

主な取組み

- ・県市協働による「長崎の夜景の在り方に関する検討会」の提言等を基にした、夜景の見せ方や視点場のあり方の具現化

予算化する 主な事業	基本施策	予算区分	事業名	担当所属名	予算額
	A4	拡大	観光イルミネーション事業費 （「ながさきクリスマス」のイルミネーション拡充）	観光推進課	50,500 千円

主な取組み

- ・夜の観光を安全かつ快適に楽しむための工夫や整備（ライトアップの見せ方、ロープウェイの整備など）。

予算化する 主な事業	基本施策	予算区分	事業名	担当所属名	予算額
	A4	新規	観光施設整備事業費（稲佐山山頂魅力向上整備）	観光推進課	8,000 千円
	A4	拡大	観光施設整備事業費（観光施設ライトアップ設備整備） （中町教会ライトアップ）	観光推進課	10,000 千円
	A4	新規	耐震化推進事業費（稲佐岳駅舎ほか）	観光推進課	3,000 千円

主な取組み

- ・観光の着地メニュー「長崎さるく」における「さるくキャンペーン」の推進

予算化する 主な事業	基本施策	予算区分	事業名	担当所属名	予算額
	A4	継続	長崎さるく運営費補助金	観光政策課	79,699 千円

主な取組み

- ・国体の開催や世界遺産関連の動きを見据えた、JRを始めとする交通キャリアや旅行代理店等と連携した官民協働による誘致・宣伝力の向上に資するような事業の具現化
- ・世界遺産登録を見据えた観光客の受入態勢の構築

予算化する 主な事業	基本施策	予算区分	事業名	担当所属名	予算額
	A4	新規	世界遺産観光客受入費	観光政策課	8,041 千円
	A4	拡大	宣伝活動費 (産業革命遺産の宣伝活動)	観光推進課	6,972 千円
	A4	拡大	観光情報発信事業費 (長崎観光ホームページのリニューアル)	観光推進課	19,224 千円
	A4	拡大	交通事業者連携事業費 (クルーズトレインななつ星in九州の歓迎イベント(期間拡大))	観光推進課	4,043 千円
	A1	拡大	高島石炭資料館運営費 (展示ケース改修、外国語表記の展示解説シート・リーフレット作成)	文化財課	1,400 千円
	A1	新規	長崎の炭鉱遺産記録調査費	文化財課	3,000 千円

主な取組み	・姉妹都市・市民友好都市との交流拡大を図るための市民レベルでの人的ネットワークの構築につながる取組みの推進
--------------	---

予算化する 主な事業	基本施策	予算区分	事業名	担当所属名	予算額
	A5	継続	子どもゆめ体験費	国際課	9,416 千円
B3	継続	自治体職員協力交流費	国際課	2,507 千円	

重点的施策 2

歴史文化基本構想の確立と出島をはじめとした歴史文化遺産を活かした観光まちづくりの推進

主な取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史的資産を積極的にまちづくりに活かすための基本構想と構想実現のための事業計画づくりの推進 ・旧英国領事館など文化財建造物等の保存修理と公開活用の推進
--------------	---

予算化する 主な事業	基本施策	予算区分	事業名	担当所属名	予算額
	A1	拡大	歴史文化基本構想策定費 (シンポジウム開催)	文化財課	366 千円
	A1	新規	東山手・南山手地区魅力向上費	文化財課	792 千円
	A1	継続	文化財保存整備事業費(国指定重要文化財旧長崎英国領事館)	文化財課	30,000 千円
A1	新規	歴史の学校開設準備費	文化財課	745 千円	

主な取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・復元計画に基づく、出島における復元建造物の建築工事着手 ・出島表門橋架橋のための遺構調査(江戸町側)及び設計業務の推進 ・世界とつながる出島プロジェクトの開始
--------------	--

予算化する 主な事業	基本施策	予算区分	事業名	担当所属名	予算額
	A1	拡大	出島運営費 (世界とつながる出島プロジェクト)	出島復元整備室	9,015 千円
	A1	新規	出島復元整備事業費(建造物復元)	出島復元整備室	115,400 千円
	A1	継続	出島復元整備事業費(出島表門橋)	出島復元整備室	31,700 千円
A1	継続	出島表門橋整備推進費	出島復元整備室	1,950 千円	

重点的施策 3

長崎の個性を活かした芸術文化の魅力発信

主な取組み

- ・県や市民文化団体等と連携した、マダムバタフライをキーワードに観光施設等を活用した魅力ある音楽フェスティバルの開催
- ・長崎を舞台にした個性豊かな芸術作品の制作発表の場の創出及び文化活動の活性化の推進

予算化する 主な事業	基本施策	予算区分	事業名	担当所属名	予算額
	G4	継続	マダムバタフライフェスティバル開催費負担金	文化振興課	4,000 千円

※予算額については、記載した事業（拡大事業の場合は拡大部分）に係る額のみを記載しています。

平成26年度 各部局等の重点的取組み

水産農林部

重点化方針

自ら考え行動することができる農林水産業の育成と環境づくり

重点的施策 1

生産者と流通販売業者等が一体となった実行組織による販売戦略の推進

主な取組み

- ・外部からマーケティングマネージャー（流通販売の実務経験者）の公募、新たな有利販売戦略（販路・手法等）の構築・実践
- ・福岡と長崎における「長崎和牛・出島ばらいろ」の販路開拓、情報発信
- ・実践型雇用創造事業と一体となった春夏秋冬の旬の魚の情報発信や特産加工品開発

予算化する 主な事業	基本施策	予算区分	事業名	担当所属名	予算額
	C6	創造・挑戦枠		ながさき産品ブランド化リーディング事業費	ながさきの食推進室
C6	継続		「長崎和牛・出島ばらいろ」ブランド強化費	ながさきの食推進室	2,100 千円
C7	創造・挑戦枠		「長崎のおさかな」PR・おもてなし事業費	ながさきの食推進室	7,003 千円

重点的施策 2

農山漁村の戦略地区における担い手の育成と重点品目の強化

主な取組み

- ・地域農業支援組織との連携・協力体制を強化、地域連携推進員の設置
- ・戦略地区（戸石など）における旬の魚の消費拡大

予算化する 主な事業	基本施策	予算区分	事業名	担当所属名	予算額
	C6	新規		人・農地プラン地域連携推進費	農業振興課
C7	継続		旬の魚イベント拡大支援費	水産振興課	800 千円

※予算額については、記載した事業（拡大事業の場合は拡大部分）に係る額のみを記載しています。

平成26年度 各部局等の重点的取組み

土木部

重点化方針

長崎と、まちを元気にする道づくり

重点的施策 1

地域や人をつなぐ道づくり

主な取組み

- ・幹線道路の整備促進（高速道路4車線化、スマートインターチェンジ、日見バイパス4車線化、外環状線、南北幹線道路等）
- ・地域に合った暮らしやすい生活道路の整備（車みちの整備、交差点・離合場所等の整備など既存道路の改良、夜景に配慮した街路灯のLED灯転換）
- ・まちなか関連道路の重点整備（銅座川プロムナード、新大工（電停バリアフリー化）、旭大橋先線（長崎駅周辺）、岩原川周辺環境整備）

基本施策	予算区分	事業名	担当所属名	予算額	予算化する 主な事業
E7	拡大	幹線道路整備推進費 （将来交通量推計調査）	土木企画課	7,000 千円	
E7	臨時	東長崎平間・東地区スマートIC検討調査費	土木企画課	10,565 千円	
E8	創造・ 挑戦枠	車みち整備事業費	土木維持課 道路建設課	105,000 千円	
E8	—	地方道路等整備事業費 交差点改良	土木維持課	20,000 千円	
E8	新規	道路新設改良事業費（社会資本整備総合交付金） 滑石横尾線	道路建設課	10,000 千円	
D1	創造・ 挑戦枠	街路灯整備事業費 LED街路灯	土木維持課	300,000 千円	
A2	創造・ 挑戦枠	河川等整備事業費 銅座川	土木維持課	196,000 千円	
A2	新規	道路新設改良事業費（社会資本整備総合交付金） 銅座界わい路地魅力向上	土木維持課	31,000 千円	
E7	新規	地方道路等整備事業費 片淵線（新大工）	道路建設課	5,000 千円	
E7	新規	都市計画街路整備事業費（社会資本整備総合交付金） 大黒町恵美須町線	道路建設課	21,000 千円	
A2	創造・ 挑戦枠	道路新設改良事業費（社会資本整備総合交付金） 岩原川周辺環境整備	土木維持課	50,000 千円	

※予算額については、記載した事業（拡大事業の場合は拡大部分）に係る額のみを記載しています。

平成26年度 各部局等の重点的取組み

都市計画部

重点化方針

新幹線が開業する2022年に向けた、にぎわいや暮らしやすさを実感できる都市づくり

重点的施策 1

都市の魅力を高める方向性を示します

主な取組み

- ・地区の将来計画がわかり易い都市計画マスタープランの改訂
- ・長崎駅周辺の再整備（九州新幹線西九州ルート整備促進、JR長崎本線連続立体交差事業の推進、長崎駅周辺土地区画整理事業の推進）
- ・長崎駅周辺エリアをはじめとする公共空間のデザイン検討・調整
- ・世界新三大夜景の視点場整備をはじめとする公園再整備

予算化する 主な事業	基本施策	予算区分	事業名	担当所属名	予算額
	A3	継続	土地区画整理事業費等（長崎駅周辺地区）	長崎駅周辺整備室	676,000 千円
A3	継続	新幹線整備推進事業費（九州新幹線西九州ルート建設事業費負担金）	長崎駅周辺整備室	71,000 千円	
A3	継続	都市計画費負担金（JR長崎本線連続立体交差事業費）	長崎駅周辺整備室	752,250 千円	
E5	新規	都市計画マスタープラン改訂費	都市計画課	22,500 千円	
E5	拡大	国土基本図作成費（地理情報（基本図）の改訂）	都市計画課	34,000 千円	
E8	継続	公園施設整備事業費（綱冠山公園展望台（夜景観光整備））	みどりの課	33,000 千円	
E8	新規	稲佐山山頂アクセス向上検討調査費	みどりの課	7,000 千円	

重点的施策 2

暮らしやすい都市基盤を整えます

主な取組み

- ・新幹線整備建設発生土の活用
- ・斜面市街地の居住環境改善に向けた新たな取組みの展開
- ・地域のニーズに対応した公園の再整備

予算化する 主な事業	基本施策	予算区分	事業名	担当所属名	予算額
	A3	新規	新幹線整備推進事業費（新幹線建設発生土受入）	長崎駅周辺整備室	110,000 千円
E5	継続	歴史的地区環境整備事業費（唐人屋敷顕在化）	まちづくり推進室	160,000 千円	
E5	拡大	斜面市街地再生事業費（南大浦地区）（老朽建物除却、道路整備、共同住宅建設費等補助 他）	まちづくり推進室	191,600 千円	
E5	継続	土地区画整理事業費等（東長崎平間・東地区）	東長崎土地区画整理事務所	1,105,000 千円	
E5	継続	都市基盤施設整備事業費（東長崎地区）	東長崎土地区画整理事務所	45,000 千円	
E8	継続	公園等施設整備事業費等（中島川公園（出島対岸地区））	みどりの課	1,041,000 千円	
E8	継続	公園等施設整備事業費等（金比羅公園）	みどりの課	17,700 千円	
E8	継続	公園等施設整備事業費（祝捷山公園ほか（健康遊具設置））	みどりの課	31,000 千円	

※予算額については、記載した事業（拡大事業の場合は拡大部分）に係る額のみを記載しています。

平成26年度 各部局等の重点的取組み

建築部

重点化方針

安全・安心な居住環境をつくる

重点的施策 1

住宅・建築物の防災性の向上

主な取組み

- ・耐震基準を満たしていない市有建築物・民間特定建築物・木造戸建住宅について、計画的な耐震化の推進に取り組む。
- ・耐震診断が義務化された大規模特定建築物に対する支援を拡充し、2年以内の耐震診断の実施を促進する。
- ・空き家等適正管理条例に基づく指導及び除却費に対する補助により、老朽危険空き家の除却等の改善を推進する。

予算化する 主な事業	基本施策	予算区分	事業名	担当所属名	予算額
	E6	継続	安全・安心住まいづくり支援費 (木造戸建住宅の耐震化補助金)	建築指導課	47,118 千円
	E6	拡大	民間建築物耐震化推進費補助金 (要緊急安全確認大規模建築物の耐震診断費補助金)	建築指導課	96,800 千円
	E6	継続	老朽危険空き家除却費補助金	建築指導課	10,000 千円

重点的施策 2

市営住宅整備（建替、改善、除却）の推進

主な取組み

- ・老朽化した市営住宅の計画的な建替えを実施する。（大園団地・塩町団地）
- ・市営住宅の居住環境の改善を実施する。
- ・合併地区における市営住宅（高島・池島等）の集約移転を行う。

予算化する 主な事業	基本施策	予算区分	事業名	担当所属名	予算額
	E6	継続	公営住宅建設事業費（大園団地）	住宅課	1,812,000 千円
	E6	新規	公営住宅建設事業費（塩町団地）	住宅課	37,000 千円
	E6	継続	既設公営住宅改善事業費（横尾団地ほか）	住宅課	200,000 千円
	E6	継続	管理事務費（移転補償費）（丹馬・池島第2団地ほか）	住宅課	10,400 千円

重点的施策 3

住宅のセーフティネットの再構築

主な取組み

- ・市営住宅が担うべき対象者の見直しを進める。
- ・市営住宅管理戸数の適正化を推進する。

予算化する 主な事業	基本施策	予算区分	事業名	担当所属名	予算額
	E6	—	市営住宅が担うべき対象者の見直し及び市営住宅管理戸数の適正化の推進	住宅課	— 千円

重点的施策 4

民間住宅関連施策の推進

主な取組み

- ・民間住宅リフォーム工事に対する補助を実施する。
- ・長崎県・民間団体等との協働により民間住宅（マンション等）に関するセミナーを開催するとともに、民間の空き家の活用へ向けた支援策を実施する。

予算化する 主な事業	基本施策	予算区分	事業名	担当所属名	予算額
	E6	継続	ながさき住みよ家リフォーム補助金	住宅課	153,557 千円
E6	継続	住宅性能向上リフォーム補助金	住宅課	91,251 千円	
E6	継続	管理啓発費	住宅課	363 千円	
E6	-	長崎県居住支援協議会との連携による支援	住宅課	- 千円	

※予算額については、記載した事業（拡大事業の場合は拡大部分）に係る額のみを記載しています。

平成26年度 各部局等の重点的取組み

消防局

重点化方針

市民とともに、地域に根ざした消防・防災体制をつくる

重点的施策 1

地域の消防・防災体制の充実

主な取組み

- ・各種団体等への働きかけによる消防団員の入団促進
- ・車両の進入が困難な地域等への初期消火用具の配置
- ・北消防署滑石出張所の建替事業への着手
- ・消防団格納庫の建替えと、消防用車両等の代替更新

予算化する 主な事業	基本施策	予算区分	事業名	担当所属名	予算額
	E2	新規	団員加入促進事業費	消防局予防課	764 千円
E2	拡大	初期消火体制整備費 (軽量化事業期間の短縮)	消防局警防課	4,060 千円	
E2	新規	消防車両等整備事業費 (消防ポンプ自動車(北消防署・第41分団1部 三重町))	消防局警防課	35,500 千円	
E2	新規	消防車両等整備事業費 (消防ポンプ自動車(野母崎出張所)・小型動力ポンプ積載車(消防団用6台)等)	消防局警防課	55,600 千円	
E2	新規	消防施設整備事業費 (消防出張所(滑石出張所)建設事業)	消防局総務課	12,000 千円	
E2	新規	消防施設整備事業費 (消防団格納庫(第23分団2部 神ノ島町2丁目)建設事業)	消防局総務課	27,500 千円	

重点的施策 2

市民の防火・防災意識の高揚

主な取組み

- ・消防団員による一般家庭等の防火訪問の実施
- ・地域の実情に応じた、防火防災訓練等の実施
- ・福祉施設等の関係者、地域及び行政の連携による防火安全対策の実施

予算化する 主な事業	基本施策	予算区分	事業名	担当所属名	予算額
	E2	継続	火災予防費(非常備消防費) (消防団員による一般家庭の防火訪問)	消防局予防課	3,420 千円
E2	継続	地域ごとの防火防災訓練の実施	消防局予防課	— 千円	
E2	継続	福祉施設等に対する防火指導や消防訓練実施の推進	消防局予防課	— 千円	

重点的施策 3

救命率の向上

主な取組み

- ・救急車の適正利用の普及啓発
- ・高規格救急自動車の代替更新
- ・中学生を対象としたスクール救命サポーター育成事業の実施
- ・救急サポートステーション施設の拡大

	基本施策	予算区分	事業名	担当所属名	予算額
	予算化する 主な事業	F9	継続	救急業務費 (救急車の適正利用に関する広報活動の推進)	消防局警防課
F9		新規	消防車両等整備事業費 (高規格救急自動車(三重出張所))	消防局警防課	32,000 千円
F9		継続	市内全中学1年生に対する救急講習の実施 (スクール救命サポーター育成事業)	消防局警防課	- 千円
F9		継続	救急サポートステーション施設の拡大	消防局警防課	- 千円

※予算額については、記載した事業（拡大事業の場合は拡大部分）に係る額のみを記載しています。

平成26年度 各部局等の重点的取組み

上下水道局

重点化方針

上下水道事業の持続性を確保するため、施設の機能強化を計画的に進める

重点的施策 1

上下水道施設の機能強化

主な取組み

- ・下水道施設の長寿命化・不明水対策によるライフサイクルコストの最小化。
- ・配水施設整備事業による老朽施設事故の未然防止。
- ・上下水道施設の耐震化の推進。

予算化する 主な事業	基本施策	予算区分	事業名	担当所属名	予算額
	D3	拡大	下水道施設の長寿命化・不明水対策 (下水処理場改築工事)	事業管理課 下水道建設課 下水道施設課	826,507 千円
E9	継続	配水施設整備事業	水道建設課	1,300,000 千円	
E9	拡大	耐震化事業(水道) (手熊浄水場洗浄水槽築造工事ほか)	事業管理課 給水課 浄水課	161,015 千円	
D3	継続	耐震化事業(下水道)	事業管理課 下水道建設課	45,000 千円	

重点的施策 2

合併地区の水道施設の統廃合

主な取組み

- ・合併地区の安定した給水体制の確立。

予算化する 主な事業	基本施策	予算区分	事業名	担当所属名	予算額
	E9	拡大	水道施設統合整備事業 (琴海地区、野母崎地区送水管布設ほか)	事業管理課	280,634 千円

重点的施策 3

下水道未整備地区の解消

主な取組み

- ・私道への汚水管布設に係る要件の緩和。

予算化する 主な事業	基本施策	予算区分	事業名	担当所属名	予算額
	D3	新規	私道公共下水道汚水管布設(布設範囲の拡大)	事業管理課 下水道建設課	30,000 千円

重点的施策4

効率的・効果的な資産運営

主な取組み

・アセットマネジメントの導入。

予算化する 主な事業	基本施策	予算区分	事業名	担当所属名	予算額
	E9	新規	アセットマネジメント計画策定事業	事業管理課	406 千円

※予算額については、記載した事業（拡大事業の場合は拡大部分）に係る額のみを記載しています。

平成26年度 各部局等の重点的取組み

教育委員会

重点化方針1

学校・家庭・地域がそれぞれの教育効果を発揮し、「知・徳・体」のバランスのとれた生きる力を育む

重点的施策1

- ・ 基本的生活習慣・基礎学力の定着
- ・ 学校施設における耐震化の推進及び適正配置計画の見直しと老朽化対策
- ・ 特別支援教育拡大に対する対応

主な取組み

- ・ 幼児期と児童期のつながりを意識した全市的な幼保小連携の推進
- ・ 学習習慣づくりと基礎学力定着をめざした小学校低学年における指導体制の構築推進
- ・ 学校図書館司書を活用した読書習慣づくりと調べ学習の場としての学校図書館の活用促進
- ・ ふるさと長崎を体感する、地域と連携した体験学習の充実
- ・ 正しい食習慣の定着をめざした、給食をはじめとする食育の推進
- ・ 学校施設における耐震化の推進及び適正配置計画の見直しと老朽化対策
- ・ 特別支援教育支援員の配置

	基本施策	予算区分	事業名	担当所属名	予算額
予算化する 主な事業	G1	継続	心の教育充実推進費	学校教育課	20,906 千円
	G1	拡大	学力向上推進費 (標準学力テストの小3(国・算)、中2(英)の実施)	学校教育課	3,398 千円
	G1	拡大	学校図書館司書配置費 (司書を活用した中学校図書館の長期休業中の開放)	学校教育課	8,348 千円
	G1	継続	給食施設費 (米飯給食の充実)	健康教育課	50,597 千円
	G1	継続	小中学校適正配置推進費	施設課	198 千円
	G1	継続	小学校整備事業費(小柵小移転改築)	施設課	1,045,000 千円
	G1	継続	耐震化推進事業費(小・中)	施設課	1,158,000 千円
	G1	拡大	特別支援教育充実費 (特別支援教育支援員の増員(80人→83人))	教育研究所	2,544 千円

重点的施策2

- ・ 国際理解教育の推進
- ・ ICT教育の推進
- ・ 平和教育の推進

主な取組み

- ・ ALTや英語インストラクターを効果的に活用し、小中9年間を通じた国際理解教育の推進
- ・ 教科指導におけるタブレット型パソコンを活用した授業の推進
- ・ テレビ会議システムを用いた離島部学校の授業支援
- ・ 被爆体験を継承し、平和の大切さを発信できる子どもの育成

	基本施策	予算区分	事業名	担当所属名	予算額
予算化する 主な事業	G1	拡大	国際理解教育推進費 (ALTの増員(32人→37人))	学校教育課	20,304 千円
	G1	新規	タブレット整備事業費(小・中)	教育研究所	74,408 千円
	G1	新規	離島遠隔授業システム構築費	教育研究所	3,293 千円
	G1	継続	平和教育指導費	学校教育課	1,364 千円

重点化方針2

住み慣れた地域でいきいきと元気で生きがいを持って暮らす

重点的施策1

- ・地域における学習機会の充実
- ・家庭教育の推進（ファミリープログラム）
- ・公共施設マネジメント計画に沿った社会教育施設の維持管理

主な取組み

- ・地域住民への学習機会の充実
- ・科学館での恐竜化石の効果的な展示や、発掘された地元での展示による地域資源を活用した新たな学習機会の提供
- ・家庭の教育力向上のため、保護者に対するファミリープログラムを活用した講座の充実
- ・日吉青年の家での2泊3日の宿泊学習に向けて、長崎ならではの体験メニューの開発と充実
- ・地域住民が、交流の場・コミュニティの場として気軽に集えるための公民館施設の整備
- ・読み語り講座や絵本コンサート等の実施

	基本施策	予算区分	事業名	担当所属名	予算額
	予算化する 主な事業	G2	新規	地域活性化シンポジウム開催費	生涯学習課
G2		拡大	恐竜化石等研究調査費 （研究チーム立ち上げ等）	生涯学習課	3,759 千円
G2		臨時	第62回日本PTA全国研究大会開催費負担金	生涯学習課	1,800 千円
G2		新規	宿泊体験推進モデル事業費	日吉青年の家	708 千円
G2		継続	自然体験型宿泊研修施設整備事業費（（仮称）日吉自然の家）	日吉青年の家	423,600 千円
G2		継続	耐震化推進事業費（三和公民館）	生涯学習課	70,000 千円
G2		継続	公民館整備事業費（黒崎地区公民館改築）	生涯学習課	240,000 千円
G2		継続	公民館施設整備事業費（野母地区公民館ほか）	生涯学習課	9,900 千円

※予算額については、記載した事業（拡大事業の場合は拡大部分）に係る額のみを記載しています。